

鐵道國有法案件一特別委員會議事速記錄第二號

○明治三十九年二月二十一日(木曜日)午前十時二十四分開會
○委員長(侯爵黒田長成君) 是ヨリ一昨日ニ續イテ開會イタシマス、柳澤伯爵、西村君、此兩名ヨリ委員外テハアルガ、此委員會ニ於テ質問ガナサレタイト云フ希望ヲ委員長マテ申出アラマシタガ、諸君ニ於テ差支ナイト云フ御考ナラバ許可イタサウト思ヒマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵黒田長成君) ソレデハ許可イタスコトニ致シマス
○伯爵徳川達孝君 チヨウト私モ一言希望ヲ述ベテ置キタウゴザイマスガ、此鐵道國有法案ハ申スマデモナク大問題ニアリマシテ、無論慎重ニ議サヌケレバナラヌコトハ申スマデモゴザイマセヌガ、御承知ノ通り此二十二議會モ最早大分切迫シテ居リマスルコトデモザイマスルカラシテ、決議ト云フコトハ兎モ角モデスガ、今日ハドウツ午後マテ出來ルヶ御進メニナシテ、或ル時間マテハドウツ繼續シテ此委員會ヲ御開キアラムコト希望イタシマス

○男爵伊達宗敦君 チヨウト徳川サンニ確メテ置キマスガ、或ル時間ト云ウテモ餘り遅クマデハ……大抵二時トカ、二時トカ、晝餐後マテモ續イテ委員會ヲ繼續シヤウト云フ御考デハナイカト思ヒマスガ、ソレナラバ私ハ御同意ヲ致シマス
○伯爵徳川達孝君 無論時間ノコトハ委員長ノ御考ヘ次第ニアリマシテ、六時トカ、七時トカ云フ譯デハナイケレドモ、委員長ノ御考ヘ次第デ、此位マテハヤラウト云フ所マテハ御開キアラムコトヲ希望イタシマス、時間ノコトハ委員長ノ御考ヘ次第デ、午前ニハ濟ムコトノ無イヤウニ願ヒマス

○委員長(侯爵黒田長成君) 委員長ニ於キマシテハ本日ハ午後マテ續イテ開ク積リニ考ヘテ居リマス、其時間ノ所ハ尙委員會ノ摸様ニ依ヅテ其時ニ極メマスコトニ致シマス
○男爵伊達宗敦君 今日ハ總理大臣ガ御出ニナリマセヌカラ、ドウカ主務大臣カラ御答辯ヲ願ヒタイ、過日ノ委員會ニ於テ私が御尋ラシタ、即チ國有主義ト極マッタノハ何時期カラ始マックトデアルカト云フコトヲ御尋シタ所ガ、總理大臣が言ハレルニハソレハ格別此案ニ必要ハ無トイテ御述ベニタヤウニ思ヒマスルケレドモ、私ハ必要ガアルト思フ、ソレハ少クトモ私ダケハ、ドウシテモソレヲ伺ツテ意思ヲ極メタイト思フ、何トナレバ此間曾我子爵カラ御尋ニナシテ、ソレニ總理大臣ガ述ベラタノニハ、同ジ院ニ於テ達ツタコトヲ言ウタノハ甚ダ自分ノ誤デアル……誤ヅタト云フコトヲ御述ベニナリマシタカラ、ソレニ就ア一々糾スト云フ譯デハアリマセヌケレドモ、抑々此官設……デハナイ、國有ト云フコトノ主義ヲ政府ニ於テ定メラレタト云フコトハ、イツノコトデアルカト云フコトガ聽キタノデアル、ソレデ無論内容ハ新橋横濱間ノ汽車が出來タ以來、屢々交迭ニナツタモノデアリマスカラ、イツノ内閣ガ極メタト云フコトヲ私ハ問フノデハナイアリマスガ、大抵イツ時分カラ鐵道ト云フモノハ國有ニシナケレバナラヌ、即チ國有主義ト云フコトヲ政府ハ決定サレタカト云フコトガ聽キタノアリマス、ドウカ其御答ヲ煩ハシマス

○國務大臣(山縣伊三郎君) 唯今伊達男爵ヨリノ御尋ニアリマシタガ、此日本ノ鐵道が國有主義デアルカ、無イカト云フコトデアリマシタガ、是ハ今日マテノ鐵道政策ノ上ニ就テ見マスレバ、國有主義ト言ウテ差支ナカラウカト存シマス、ソレハ第一、總理大臣ヨリモ過日申サレタ如ク、明治ノ初年政府ニ於テ京濱或ハ京神間ノ鐵道ヲ敷設シマシテ之ヲ政府ニ買上ゲルト云フコトニ定メテアリマス、ソレカラ此二十四年ニハ衆議院ヘ政府ヨリモ買收法案ヲ提出シタコトガアリマシタ、ソレハ否決ナリマシタガ、又其翌年二十五年ニモ買收法案ヲ提出イタシタノアリマス、ソレカラソレガ遂二十十分ニ效果ヲ奏シマセヌ所カラニ十六年ニ至テ初メテ鐵道敷設法ナルモノガ出來マシタ、其鐵道敷設法ニ據リマスレバ詰リ必要ナル線路ハ悉ク官設ニスル、尤モ民設ニモ許スコトヲ得ルト云フヤウナ次第ニアリマシテ、此鐵道敷設法ニ據リマシテモ國有主義ハ明カナモノデアル思フ、ソレカラ私設鐵道法ニ於テモ又此期限ヲ定メアリマシテ、此法案ニ據テモ其主義ハ明カデアラウト思ヒマス、ソレカラ近クハ三十二年ニ更ニ鐵道調査委員會ヲ置カレマシテ、此主要ナル鐵道ヲ買收スルト云フ案ガ衆議院ニ出タコトニアリマス、是ハモウ御承知ノコトデアラウト思ヒマスカラ、別段申上ゲル必要ハ無イカト思ヒマスガ、詰リ今日マテノ沿革ハ此鐵道ヲ國有ニスルト云フノガ政府ノ主義ニナツテ居ラウカト考ヘマスル、無論主義ニナツテ居ルト私ハ信ジテ居リマス、ソレダケノコトヲ申上ゲマス
○男爵伊達宗敦君 サウシマスレバ詰リ過日委員會ニ於テ私ノ問ニ總理大臣ガ答ヘラレタ所ノ新橋竪三神戸間、京都神戸間ノ鐵道、一番先キハ新橋横濱間ニアツタノデアリマス、ソレヲ設ケル當時ヨリ既ニ官設ト云フコトハ……イヤ官設デナイ、鐵道ト云フモノハ國ノニスベキモノデアル、國有ニスベキモノデアルトニ云フ主義ガ定マツテ居ルノデアル、斯ウ考ヘレバ宜シノアリマスカ

○國務大臣(山縣伊三郎君) 唯今ノ御尋ニ對シテハ過日總理大臣モ答ヘラレマシタガ、明治ノ初年三官設ノ端ヲ發イタ、斯ウ云フコトデアツタ、デ果シテ其當時ヨリ此主義デヤルト云フコトガ其時極マッタノデアルガ、又其後一時拂下ト云フヤウナコトモ論ガアツタコトデアリマスカラ、其邊ハ明治ノ初年ニ遡リテ、ドウデアタカト云フコトハ御答ガ今日ハ出來ナイ、斯ウ云フコトニアリマシタノデゴザイマス、ソレデ其以來、唯今申シマシタ通り其以來ノ政府ノヤリ來ラ所ニ據リマスレバ無論、是ハ國有主義ト云ウテ差支ナイト信シマス
○子爵曾我祐準君 唯今遞信大臣ノ御答辯ノ中ニ私が開損ヒマシタカ知レマセヌガ確メテ置キマスカ、二十四年ニ買收法ガ出タト云フノハドウ云フコトデスカ、ソレカラ私設鐵道法ニ據ルト私設鐵道ハ二十五年ニハ買上ゲルト云フヤウニ仰シヤルコトモ讀シテ字ノ如ク「満二十五年ノ從鐵道及附屬物件ヲ買上クルノ權ヲ保有ス」政府ハ買上ゲル權ヲ保有スルダケデ一十五年ニキット買フト云フコトハ無イ今ノ御演説デ見ルト、二十四年後ニ私設鐵道ハ或ル年限ノ後ハキット買フコトニナルト極マツテ居ルヤウニ聞エマスガ、サウ

云フ御趣意アリマスカ、二十四年ニ買收法が出来タト仰シャルノフ承リタウゴザイマス、聞達ヒカ知レマセヌガ、ソレヲ御辯シ下サイ

○國務大臣(山縣伊三郎君) 二十四年ニ衆議院ニ買收法案が提出サレタト云フコト

トデアリマスカ

○子爵曾我祐準君 二十四年ニハ、ソレハ法律トナツテ居リマセヌナ

○國務大臣(山縣伊三郎君) 法律ニハナツテ居リマセヌ

○子爵曾我祐準君 ソレナラ宜シウゴザイマス

○國務大臣(山縣伊三郎君) ソレカラ唯今ノ第二ノ御尋ねハ無論「保有ス」ト云フノデアリマスカラ、政府ハイツデモ之ヲ買上ゲ得ルモノデ、二十五年後ハ買上ゲ得ルト云フ意味デアリマス

○子爵曾我祐準君 必ズ買上ゲ得ルト云フ御解釋デハゴザイマセヌナ

○國務大臣(山縣伊三郎君) 必ズト云フコトハ申サレマセヌ

○委員長(侯爵黒田長成君) チヨット諸君ニ申上ゲテ置キマスガ、今朝總理大臣ハ宮内省ノ方ニ參ラレテ居ルサウデアリマシテ、少シ遲刻ニナルト云フコトデアリマスカラ、此段申上ゲテ置キマス、ソレカラ廣澤伯爵カラモ此委員會ニ於テ質問ガナサレタイト云フコトデアリマスカラ、是モ無論許可イタス積リデアリマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○子爵牧野忠篤君 此賃銀ノ低減ト云フコトニスレバ國有後ノ遠距離ノ御見込ハドノ位ト云フコトニ付テソレヲ御伺ヒシタイ、モウ一つハ此買收スル方法ハ凡ソ國債ノ金高ト併行シテ居リマセウト思ヒマスガ、サウ云フ方法ノ御考案ガアリマスルナラバ伺ッテ置キタウゴザイマス

○政府委員(平井晴一郎君) 御答ヲ致シマス、唯今此鐵道ヲ統一イタシマシタ後ノ賃銀ノ遞減ヲスルナラバ其程度如何ト云フ御尋ノヤウニ思ヒマシタガ、如何ホドマテ下ゲルノテアルト云フ確定シタル案ハマダ極シテ居リマセス、サリナガラ旅客賃デ申シマスレバ現時ノ作業局ノ率デゴザイマシテモ三百哩以上ハ八哩ト云フヤウナ率ヲ設ケテ居リマスデ、之ヲ統一イタシマシタ線路ノ里數ヲ通算シテ勘定ヲシテ参りマスレバ此八哩ノ率ヲ其儘持ツテ行テモ餘ホド足ラヌ、又青森カラ下ノ關マテ通ジマスレバ大變ナ里數ニナリマスカラ、八哩ノ上ニ六哩トカ七哩トカ云フ率モ必ズ設ケラレルコト考ヘテ居リマス、又貨物ノ賃率ニ至リマシテハ是亦或ル數種ノ物ニ對シテ一般割引ヲ以テ公不シタモノガゴザイマスガ、尙其外ニ何レノ時デモ出ルト云フモノデハナイ、格段ナモノニ對シマシテハ公示セズ割引ノ法ヲ設ケテアリマス、是亦遠距離ニ從ツテ出テ居ルノデアリマスカラ、少クトモ今日作業局が持ツテ居リマスル四百五十哩マテノ率ヲ應用イタシマスガ、先づ今申シマシタ如ク大變距離が長ウナリマスカラ、其以上ハ率ヲ下ゲルコトニナルデアラウト思ヒマス

○男爵佐野延勝君 私ハ政府委員ニ……鐵道國有統一ト云フコトニ付イテハ久シキ以前ヨリ政府ノ主義デアルト云コトハ是マテノ各位ノ答辯ニ於テ承リ居ル次第アリマスガ、併シ唯サウ云フ主義デアルカラ、經歷デアルカラ、歴史デアルカラ、之ヲ統一ニスルト云フノハ一ノ理由デモアリマセウガ、其事實ノ存スル所ト云フモノハ必ズヤ調査ガ出來テ居ラネバナラムト思フノデアル、サウ云フ國有ニスルト云フ主義デ是マテ政府ガ監督モセ

ラタデアリマセウ、調査モセラタデアリマセウ、然ラバ國有ニセヌケレバ是カラ先キノ帝國ノ國利或ハ民福ト云フモノが保持スルコトが出来ズ、國ノ發展ト云フコトが十分ニイカス、例ヘバ日本ノ特有產物ガ歐羅巴若クハ亞米利加、第二ノ所フ申セバ清國韓國或ハ南洋トカ、斯ウ云フ方面ニ向シテ輸出ラスル、運送ラスル上ニ、鐵道ガ國有統一デナリ故ニ、何十何年ニハ人民ハコラ程ノ損失ヲシタ、或ハ國が是レボド損ヲシタト云フコトハ久シキ以前ヨリ特ニ御調查が成シテ居ルコト自分ハ信ズルノデアリマス、斯ル故ニアリマスカラ、政府ハイツデモ之ヲ買上ゲ得ルモノデ、二十五年後ハ買上ゲ得ルト云フ意味デアリマス

○國務大臣(山縣伊三郎君) 既往ノ事實ニ之ヲ徵シテ將來ニ國有ニセニヤナラヌト云フコトノ御立論カラ起シタコトダラウト信ズルノデアリマスガ、ドウカ生絲ナリ繭ナリ茶ナリ、或ハ「スリッバ」ダトカ、日本ノ特有產物が如何ニ國有デナイ故ニ捐ヲシタ、若シ國有デアシタナラバ斯ル事ハ無カッタデアラウト云フコトガ一ツ、モウ一つハ是ハ未來ノ事デアルガ、國有ニ相成ルニ於テハ人民生産者ト云フモノハ……生産者ノ多クハ斯様ナル便益ヲ得テ自然ト日本ノ發展ノ趣意ニモ適ヒ、大趣意タル國利民福ノ目的ヲ達スルコトが出來ルト云フコトノ御推定が必ズヤアラウト私ハ思フノデ、唯机ノ上デ爲サレタト云フヤウナコトノミテハ決シテ無イ、今日ノ當路ノ諸先生方ハ十分論據ヲ置キ全體ニ向シテ是ヨリ外ニ鐵道ニ付テハ道ハ無イ、鐵道ト云フ問題ニ付テハ是ヨリ善キ道ハ無イト云フダケノ御研究が必ズ付テ居ルダラウト思フ、願ハクハ其統計ナリ若クハ文字上、數字上デモ宜シウゴザイマスカラ、書イタモノデモアレバ尙宜シイノデアリマスガ、其點ヲ一つ政府委員ニ御尋ヲ致シマス

○國務大臣(山縣伊三郎君) 唯今ノ御尋ハ將來如何ニ殖產興業ノ上ニ發達ヲ見ルベキカ、トウ云フ工合ニ是カラ先キ富力ヲ増スノ經畫が立テ居ルカ、斯ウ云フヤウナ御趣意ニ伺ヒマシタガ……

○男爵佐野延勝君 私ハ殖產興業トハ申シマセヌ、從來ノ生絲ナリ茶ナリ繭ナリ日本ノ特有產物が鐵道ガ統一デナイ爲ニ幾バクノ損失ヲ蒙テ居ルカ、國が幾ラ損ラシテ居ルカ、國民ノ大部分ガドレダケ損シテ居ルカト云フコトハ、農商務省ナリ遞信省ナリガ職掌トシテ御調べニナツテ居ルコトト思フ、其點ヲ先づ第一ニ伺ヒタイト云フ希望デアリマス

○國務大臣(山縣伊三郎君) 其點ニナリマスルト、是ハ農商務省ノ所管ニナリマスルカラ、農商務大臣ヨリ御答スルコトニ致シマス

○子爵牧野忠篤君 先キホド遞減ノコトハ御答辯ガアツタヤウデアリマスガ、今ノ買收方法ノコトハ御答ガ無イヤウデアリマス、是ハ御見込ガ無イト承知シテ宜シイノデスカ、國有後ノ主義ハ……

○政府委員(山之内一次君) チヨット能ク……伺ヒ漏ラシマシタガ、買收方法ト云ノハ……

○子爵牧野忠篤君 詰リ二十二會社ニ對シテ公債ノ額、買收金高ハ一緒ニ行クノデ

○政府委員(山之内一次君) 詰リドノ會社ハ先キニヤテ、ドウ云フ會社ハ後ニスルカト云フヤウナコトデスカ

○子爵牧野忠篤君 左様デゴザイマス

○政府委員(山之内一次君) 其御尋ニ付キマシテハ、今御答シ得ル場合ニナツテ居リマセヌ

○子爵曾我祐準君 前會ニ御尋申上ゲマシタ末、少シ要領ヲ得マセヌカラ……前會ニ同ヒマシタ時分ニ此法案ガヨシ通過シテ法律トナツテモ私設鐵道法ハ其儘存シテ置ク、斯ウ云フ御話アリマシタガ、私設鐵道法ノ第七十二條ニハ御承知ノ通り鐵道並ニ附屬物ヲ買上ゲル方法ガアリマシテ、ソレニハ五箇年前ノ株券ノ價格云々ヲドウト云フコトガアリマス、是が先達テノ前會ノ御答辯グト是ハドコマデモ此私設法ハ生キテ居ルト仰セラル、が、サウスルトドウ云フ都合ニナリマセウカ、一ツ買上法ガアルヤウナ譯デ、チヨット茲ニ迷ヒマス、委シク申シマスト私設鐵道法ノ買上法モ存在シテ居ルシ今度ノ國有法ノ買上法モ存在シテ居ル、斯ノ如キコトニナリハシマセヌカト思ヒマス

○政府委員(仲小路廉君) 曾我子爵ノ御尋ニ御答辯イタシマスガ、過日遞信大臣ヨリモ答辯ヲ致サレマシタ通り、此國有法が實行ニナリマスルト此法律ニ抵觸ヲ致シマセヌ部分ハ先ヅ生キテ殘ルコトニナリマスル、ソレハ獨り此私設鐵道ノミナラス鐵道敷設法ナドニ對シマシテモ存在スルコトニナリマス、併シ其中ニ明ニ抵觸シマスル分モ出來マス譯

○子爵曾我祐準君 前會ニ於キマシテハ改正フナサラスト承リマシタガ、其後御再考ノ上、今ノ私設鐵道ニハ修正ヲスル、斯ウ仰シヤルノデスカ、此間ハ變ヘスト言々テ今日變ヘルト云フ、ソレヲ答メルノデハ無イガ曖昧ナコトヲ言ハレテハ困ル、此間ハ變ヘスト明言シテ考デゴザイマス、ソレ等ノ分ハ何レ此國有法が實行ニナリマシタ曉ニハ、ソレく此國有法ノ趣旨ト悖ル分ニ至ダハツレく、變更ヲ加ヘマスル趣旨デゴザイマス

○子爵曾我祐準君 前會ニ於キマシテハ改正フナサラスト承リマシタガ、其後御再考ノ上、今ノ私設鐵道ニハ修正ヲスル、斯ウ仰シヤルノデスカ、此間ハ變ヘスト言々テ今日變ヘルト云フ、ソレヲ答メルノデハ無イガ曖昧ナコトヲ言ハレテハ困ル、此間ハ變ヘスト明言シテ考デゴザイマス、ソレ等ノ分ハ何レ此國有法が實行ニナリマシタ曉ニハ、ソレく此國有法ノ趣旨ト悖ル分ニ至ダハツレく、變更ヲ加ヘマスル趣旨デゴザイマス

○國務大臣(山縣伊三郎君) 過日ハ此際變更セヌト云フ意味デ御答ヲ申上ゲマシタガ、必要ヲ生ズル場合ハ無論是ハ變更ヲスルコトニナリマスノデゴザイマス

○子爵曾我祐準君 サッパリ分ラナイ、更ニ伺ヒマス、鐵道敷設法ト云フモノガアリマスガ、此第十一條ハ又是モ買收法ヲ規定シテアリマスガ、是ハドウ云フコトニナリマスカ、

此法が通過シマシタナラバ、即チ國有法が通過シマシタナラバ如何ニナリマスカ、之ニハ「買收」必要アリト認ムルモノハ政府ハ其ノ會社ト協議ノ上價格ヲ豫定シ帝國議會ノ協賛ヲ求ムヘシトアリマス、是ハドウナリマス、今ノ抵觸ノ部ニナリマスカ、抵觸セヌ分デゴザイマスカ

○政府委員(山之内一次君) 是等が唯今申シマシタソレデゴザイマス、是が明ニ抵觸スルノデゴザイマス、斯ウ云フモノハ從ツテ此國有法が實行ニナリマスレバ其結果トシテ、此十一條ノ條文ノ如キモノハ勿論變更サレテ仕舞フコトト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 抵觸スルモノハ何故ニ此法案ト共ニ御提出ニナリマセヌカ、大概法律が變ツテ抵觸スルモノハ束ネテ御出シニナルニ、何ノ理由ガアツテ御出シニナラヌノデアリマスカ

○子爵曾我祐準君 先達テ伺ヒマシタ第二條ニ列記シテアル鐵道會社ノ中、一地方ノ交通ヲ目的トスル鐵道ト御認メニナルノガ十アル趣キヲ伺ヒマシタ、中越鐵道ハ是ハ國有ト、一般運輸ノ用ニ供スル鐵道ト御認メニナルノデアリマスカ、果シテ左様デアルナラバ中越鐵道ハドコニ通シマシテ居ルコトニナリマスカ、本員等ノ見ル所デハ一地方ノ鐵道モハナイカノ如ク、此御示シ下サツタ地圖ニ依テモサウ見エマスガ、此御説明ヲ願ヒマスモノ、即チ法律ノ改正變更ト一般デアリマス

○子爵曾我祐準君 先達テ伺ヒマシタ第二條ニ列記シテアル鐵道會社ノ中、一地方ノ交通ヲ目的トスル鐵道ト御認メニナルノガ十アル趣キヲ伺ヒマシタ、中越鐵道ハ是ハ國有ト、一般運輸ノ用ニ供スル鐵道ト御認メニナルノデアリマスカ、果シテ左様デアルナラバ中越鐵道ハドコニ通シマシテ居ルコトニナリマスカ、本員等ノ見ル所デハ一地方ノ鐵道モハナイカノ如ク、此御示シ下サツタ地圖ニ依テモサウ見エマスガ、此御説明ヲ願ヒマスモノ、即チ法律ノ改正變更ト一般デアリマス

○政府委員(平井晴二郎君) 曾我子爵ノ御尋ニ御答ヲ致シマス、中越鐵道株式會社ノ鐵道線路ハ御承知ノ如ク伏木カラ高岡ヲ經マシテ城端ト云フ越中ノゴケ寒村ニ達シテ居ル鐵道デアリマス、ソレデ一應ハ圖面ノ上カラ見マスルト全ク其地方ダケノ運輸ノ用ニ供セラレルモノカト云フ御考ノ方モアルダラウト思ヒマスガ、政府ノ認メマス所デハ此海ヘ出ス爲ニ、即チ或ル種ノ水陸連絡ノ用ヲ爲シテ居ルモノデアルカラ、ソレデ是ハ一地方ノ交通ヲ目的トスルモノデ無イト斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵曾我祐準君 先刻ノ質問ニ就キマシテ政府委員ノ御答辯ハ、國有法が通過シテモ敷設法ハ修正ハスルガ存立シテ居ル、斯ウ云フ御話アリマシタが、此敷設法中ニ豫定サレテ居ルモノハ、政府デハ矢張リ今日デモ重要大線路ト御認メニナルデアリマセウ、然ルニ此敷設法ニ豫定サレテ居ラナイ鐵道ヲモ今度數多御買入レニナルト云フノハ如何アリマセウカ、ト云フハ敷設法ハ必要ナモノヲ數ヘテアル、其敷設法ニ豫定サレタモノ未ダ敷設ニ著手セラレヌモノガ澤山アリマス、是ハ何故カト云ヘベ詰リ政府ニ金ガ無イカラト云フコトデアル、然ルニ敷設法、兩院ヲ通過シタ所ノ敷設法ニ撰マレテ居ラヌ線ヲモ此節御買上ゲニナリマスガ、成田、水戸、上武、豊川、豆相、尾西、河南、近江、高野、博多灣ノ如キハ、アレニ入シテ居ラヌカト本員ハ考ヘマス、是ハドウモ甚ダ順序ヲ誤シテ居ルヤウニ思ヒマスガ、御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(山之内一次君) 鐵道敷設法ニ豫定サレテ居リマスル線路ノ必要ト認メテ居リマスルコトハ以前モ今日モ少シモ變ラナイ、其他ニ尙敷設法ニ豫定サレテ居ラナイ線路ヲ買收スルト云フコトハドウ云フ譯デアルカトスウ云フコトヲ必要ナリト認メテアル、從ツテ之ヲ統一ニシテ一ツノ下ニ經營スルト云フコトヲ必要ナリト認メタ譯デアリマス、豫定線路ニ當ルモノハ勿論其必要ヲ認メタ、豫定線路ニ當ラナイ線ト雖モ尙小會社ガ諸方ニ分立致シテ居ラテ割據シテ居ルコトハ一般ニ對シテ不便アリ且ツ不利益デアル、從ツテ之ヲ統一スル必要アリト認メテ、三十二會社ヲ總テ買收スルコトヲ必要

ト致シタ譯アリマス

○子爵谷干城君　此買上ゲマスル鐵道ノ列記シテアル中ニモ即チ阿波鐵道ナドト云フモノガアリマスガ、是ハポンノ僅カホカ出來テ居ラヌ、ドツチヘ聯絡スル必要ガアツテ、軍事ナドニドウスル積リテ、是等モ中ニ這入テ居ルノデスカ、私モガ見マスルト豊川鐵道トカ成田鐵道トカ云フモノト強ヒテ變ラナイト思フ、ナカノク是カラ土佐マテ貫ケルナドト云フコトハ、チヨット地理ヲ知テ居ル者デハ存ジ掛ケナイヤウデゴザイマスガ、是モ買上ゲル部ニナツテ居ルガ、是ハドウ云フ譯アスカ

○政府委員(山之内一次君)　チヨット谷子爵ニ御尋イタシマスガ、唯今仰セニナリマシタノハ……

○子爵谷干城君　徳島鐵道デスヨ、阿波ノ……

○政府委員(山之内一次君)　徳島鐵道即チ此第一條ニ記載シテアリマスル分デスカ

○子爵谷干城君　サウデゴザイマス

○政府委員(仲小路廉君)　是ハ唯今丁度曾我子爵カラ仰セニナリマシタ如クニ、豫定線路ニ當ツテ居リマスル分デゴザイマシテ、今日アノ線ハ四國ノ縱貫線トシテ必要ノ部分ト認メテ居リマス譯アリマス

○桑田熊藏君　此案ニ對スル贊否ヲ決スルニ當ツテ私ドモハ此鐵道國有ノ特別會計法ノ内容ヲ豫メ承ルノ必要ガアルト考ヘマス、殊ニ此鐵道ノ益金ノ處分ト云フコトハドウナル御積リテアリマスカ、大藏省トノ關係、即チ一般會計トノ關係ニ於キマシテ益金處分ト云フコトハ極メテ大事ナ問題デアル、是ハ益金ト云フモノハ何所マテモ鐵道ノ特別會計ノ中ニ屬シテ、幾ラ收益ガアリマシテモ一般會計ニ移サヌ御方針アリマセウカ、或ハ或ル限度ヲ以テ一般ノ會計ニ移スト云フ御考モアリマセウカ、ソレカラ又此鐵道國有ノ爲ニ隨分益金が澤山出ルヤウナ、御計算ニナツテ居リマスガ、若シ此計算ガ不幸ニシテ違算デアツテ、ソレガ爲ニ巨大ナ損害ガ生ジテ國庫ノ負擔ガ大ニ増スト云フ場合、其場合ニハ政府ハ一般會計ノ關係ニ於テウナサル積リテアリマスカ、鐵道公債ヲ更ニ増加ヲシテ補填ラサル積リテアリマスカ、或ハ國庫ノ一般會計カラ補充スルト云フ御考デアリマセウカ、此益金處分及損害ヲ若シ生ジタ場合ニ、鐵道國有會計ト一般會計トノ關係ヲ伺テ置キタイ

○政府委員(仲小路廉君)　特別會計ノコトニ付キマシテハ政府ハ唯今調査中デゴザイマシテ、之ヲ確定イタシマシタ案ト申シマスル譯ニハ參リマセヌガ、併ナガラ此點ハ過日衆議院ノ委員會モ大藏大臣カラ述ベラレマシタ、是ハ此鐵道國有法が實行ニナリマス曉ニハ此會計ニ付テハ一般歲計トハ離レテ獨立ニ經營ヲ立テルト云フコトハ極メテ必要ト存シマス、何れ左様ナ案ヲ提案イタシマシテ御協賛ヲ仰グベキ時期モ參ラウト考ヘマス、唯今申シマス如ク未ダ其案ト致シマシテ確定シタモノハゴザイマセヌガ、大概政府テ考ヘテ居リマスル要點ヲ申上ゲマシテモ差支ナイカト思ヒマス、其要點ハ鐵道ノ會計ニ付キマシテハ是ハ大體ノ趣意ハ一般會計ト立離レテ仕舞フ、サウシテ今日マテ帝國鐵道ノ爲ニ投入サレテ居リマスル資本、即チ從來持ツテ居リマスル官設鐵道デアリマス、ソレニ對シテ政府ヨリ投入シタモノト、ソレカラ此度此法律ニ依ツテ買收ヲ致シマスル分、ソレカラ更ニ又從來此官設線トシテ經營イタシテ居リマスル未成ノ線、是等ニ對シマシテ將

來政府ヨリ出資ヲ致シマスル額、此一ツヲ以テ資本トシテ、即チ此帝國鐵道カラ申シテスレバ負債ノ部分ニ當リマスルコトニ相成リマス、ソレヲ負債ト看做シマス譯デゴザイマス、サウシテ其勘定ノ方法ハ帝國鐵道ニ於キマシテモ、矢張リ一般鐵道ノ會計法ニ倣ヒマシテ一ツハ資本ノ勘定ヲ立テル、他ニハ収益ノ勘定ヲ立テル、収益勘定ト資本勘定トノ一通リノ勘定ヲ立テマス、資本勘定ノ點ニ付キマシテハ、唯今申シマス通り既往ニ投入サレテ居ル資本ト將來投入スベキ資本トヲ此帝國鐵道ノ負債ト看做シマス、サウシテ收益勘定ニ於キマシテハ鐵道ノ營業ノ爲ニ生ズル利益、尙經費ニ屬スベキモノノ收支支、即チ入ト出ヲ差引テ是ヨリ生ジマシテ利益ヲ以テ、既往ニ投入サレテ居リマスル總資本ニ對シテ一定ノ利子ノ額ヲ見積リマシテ、其利子ヲ先ツ償却シテ參ル、サウシテ尙殘餘ノ生ジマシタ部分ニ付キマシテハ是ハ元金ノ方ヲ償却シテ參ル、斯ウ云フ趣意ヲ立テマシテ、ソレニ依ツテ此帝國鐵道ノ方デハ自分ノ持ツテ居ル資本ヲ負債ノ部分トシテ一日モ早く収益ヲ増進イタシマシテ、其部分ヲ以テ利息竝ニ元金ノ方ヲ償還シテ參リタイト思ヒマス、ソレカラ此度買收ヲ致シマスル鐵道ニ付キマシテハ、茲ニ附屬シテ添ヘテ置キマシタ即チ甲乙丙ノ三ツデアリマス、此計算ニ付キマシテハ政府ハ決シテ違算ハ無イモノト心得テ居リマス、尤モソレヲ買收イタシマスニ付キマシテハ甲ニナリマスカ、甲ニハ勿論ナラウ苦モゴザイマセヌガ、乙ニナリマセウカ、丙ニ相成リマセウカ、此點ハ協定ノ場合ニ決マル譯デゴザイマシテ、相成ルベクハ乙ノ方が中ヲ得タ譯デアリマスカラ、此分デヤリタウゴザイマスガ、假ニ乙ノ方デ協定ガ付キマシテ其方ノ金額ヲ以テ仕拂ガ付キマスレバ、此年度ヲ極メテアリマス間ニハ必ず是ダケノ方法ガ立チマスルモノト考ヘテ居リマス、サウ致シマスト云フト此度買收イタシマス分ハ、初メノ頃ヒハ少シ不足ガ生ジマスガ、漸次四十年ニ於テ全部償還シ終ルト云フ計算ヲ立テマシタ、ソレカラ從來持ツテ居リマスル官設鐵道ニ付キマシテハ、是ハ唯今デモ投入サレタ資本ノ利子ヨリモ收益ノ分が多イコトニナツテ居リマス、是ハ總テ收入ノ部分ガ一部ハ利子トナツテ政府ニ納入サレ、尙其殘餘ヲ生ジマスレバ是ハ矢張リ元金償還トナツテ政府ニ這入リマスコトニナリマス、帝國鐵道會計ヲ別ト致シマシテモ、收支ノ國庫ニ對スル關係ハ以前ト變リハ無イト斯ウ申上ゲテ宜シウゴザイマス

○子爵曾我祐準君　唯今ノ御質問ニ對シテハ數々御尋ネ致シタイ諸君モアリマセウガ、私モ少シバカリ御尋ネ致シマス、唯今我ニ御不シニナツテ居ル價格表ノ算用ハ違算が無い、斯ウ云フガマア大體ノ問題デアリマスガ、其割出シ方ト云フモノハ先達テヨリ追ミ承リマスガ、此營業費ト云フモノハ各鐵道會社が爲シテ居ツタ如キ金高、收入モ即チ各鐵道會社がシテ居ツタ金高、斯ウ云フモノヲ基礎トシテアリマスカ、サウシテ合併ノ結果トシテ收入が減ル、收入が減ルデヤナイ、費用が減ル、ソレヲ以テ還シテ行ク、斯ウ云フ譯ニナリマスカ、チヨット御疑ヒ無イト云フ御自信ノアル、御確信ノアル所ノ表ノ指ヘ方ノ大體ヲ承リタウゴザイマス

○政府委員(仲小路廉君)　曾我子爵ノ御尋ニ御答イタシマス、此計算ヲ立テマシタ即チ表ノ作リ方ノモトデゴザイマス、是ハ備考ノ中ニモ記載ヲ致シテ置キマシテ通り、建設費ニ對スル益金ノ割合ハ明治三十二年乃至三十六年ノ五箇年間ノ半期毎ニ於テノ合計額割合ヲ一箇年分ト見積リマシテ其分ヲ出シマシタノカ〇八〇九ト云フ數デア

リマス、ソレカラ更ニ爾後ノ増進歩合ヲ見テ明治二十七年ヨリ三十六年マデ十箇年間ノ各年建設費ニ對スル益金割合ヲ矢張リ前年ニ對スル増減平均割合トシマシテ〇一四三、是ダケノ數が漸次増進シテ參ル、其割合ヲ以テ增進シテ參ルノアリマス、是ハ此際チヨット申上ゲテ置キマスガ、成ルベク他日ニナシテ收支ニ不足ノ生ズルコトノ無イヤウニト云フ積リテ、政府ニ於キマシテハ此點ニ最モ心ヲ置キマシタ積リテアリマス、最初収益ノ場合ヲ見積リマスノニ明治三十二年カラ三十六年ノ五箇年分ヲ見積リマシタノハ、丁度三十七年以後ハ戰時ニモ際會シマス譯テ幾ラカ普通狀態ト認メラレナイカト云フノデ、最モ確實ナル……、戰時狀態ヲ取除ケマシテ、三十二年以後ニモ五箇年ヲ見積リマシテ、ソレカラ二十六年ヨリ向十箇年ト見テアリマス、ソレヨリ生ズル數字ノ割合ハ他日達算ヲ生ジマイト思ヒマス、尙其統一ヨリ生ジマス利益ニ付キマシテ申上ゲレバ、此外ニモ實ハ尙多々アルト思ヒマスガ、併シ一々之ヲ數字ニ見積リテドウ云フコトハ難イコトデ、種々ノ材料ノ共通等多々アリマスガ、其中最モ明確ナリト認メタノハ總經費ノ減ルコト聯帶運輸ニ關スル精算勘定デ、是ハ明ニ數字ニ依テ分ル、是等ヲ見積リマシテ此表ニ記載イタシマシタ、尙統一ニ依テ生ズル利益ハ此他ニモ尙數字ニ認メラレナイ利益ガアルモノト思ヒマス

○子爵曾我祐準君　此議論ハ非常ニ深入ヲ論デ、數字ノ事デ、到底要領ヲ得ナイコトニナリマセウガ、本員等ノ確信シマス所ハ政府ノ營業ト云フモノハ總テノ私設鐵道ヲ平均シタモノヨリハ、ドウシテモ餘計金が要ル、ソレハ一二三ノ表ヲ作テ見マスト明ニサウナリマス、一哩ニ於ケル人員ニ於キマシテモ、一哩ニ於ケル給料ニ於キマシテモ、ソレハドウシテモ多ク見エル、又政府ハ今日、官線ト私設鐵道線トヲ或ハ比較ナサルケレドモガ、比較シテ彼此仰シャルガ、即チ我ニガ戴イテ居ル紫版ノ表ノ如キ此間段々御尋ネ申ス通り是ニハ稅ヲ脫シテ居ル、稅ヲ脱シテ居ル爲ニ政府ノ收入ハ増シテ居ル、之ニ稅ヲ加ヘタラ政府ノ收入ハ少クナル、百圓ヲ得ル爲ニ幾フト云フ算立テモ斯ノ如キコトデアル、我ニガ頂戴シテ居ル紫版ト云フモノハ、マルテ違シテ居ル、稅ヲ加ヘバ……、ソレデ斯ノ如キ得手勝手ナ表ヲ以テ政府ハ私設鐵道ヨリモ廉ケ營業が出來ルト仰セラレルノハ、ドウシテモ承諾ラスルコトが出來ナイ、大キナ鐵道、例ヘバ日本鐵道、山陽鐵道、關西鐵道、九州鐵道、炭礦鐵道、此五會社ノモノヲ一トシテ固メテ、一ツニ固メテ、サウシテ政府ノモノニ對照ヲシテ見マスト、汽車費及運輸費ニ於キマシテモ、保存費ニ於キマシテモ總掛リ費ニ於キマシテモドウモ、政府ノ方ガ餘計要シテ居ズ、列車一哩、走行列車ガ一哩走ル爲ニ費ヤシマス金ハ、政府ニ於テハ一圓トンデ一錢六厘、私設鐵道、唯今申シタ五ツノモノヲ合セテハ十六錢一厘、ソレハ三十四年、三十五年、三十六年ノ三箇年ノ經費ヲ勘定シタノアリマス、是ハ作業局年報ニ基イタモノアリマス、政府ハ動モスレバ總掛リ費ノ官吏ノ俸給ナドハ除イタリ何カナサイマスガ、サウ云フモノヲ入レテ計算シマスト列車ガ一哩走ル上ニ於テ政府ハ走行哩ガ一圓トンデ一錢六厘、私設會社ノ五ツノモノヲ合セマスト六十六錢一厘ト、斯ウナリマスヤウニ思ヒマス、是ハ間違ヒナイト思ヒマス、尙此席デハ間違ガアレバ、若シ誤ガアレバ、指摘サレマセウガ、是ハ政府ノ報告ニ依テ作リマシタノアリマスカラ間違ナイト思ヒマス、併ナガラ是ハ十分デナインデス、何トナレバ列車ノ一哩ノ計算ハ確實デアルトシテモ、本當ハ頓哩、人哩ニ當ルガ宜シイノデ

アリマスガ、ソレハ到底出來マセヌコトデアリマスカラ、若シ政府ノ列車が非常ニ大キナ列車ヲ牽イテ居ル、私設鐵道會社ハ小サナ列車ヲ牽イテ居ル、斯クナレバ走行哩ハ狂ラテ來マイ、併ナガラ是ヨリハ出來マセヌノミナラズ、政府ノミガ大キナ列車ヲ牽クノデアリマセヌ、隨分近間ニハ大キイ列車ヲ牽イテ居リマス、私設會社デモ隨分長イノヲ二十臺、四十臺モ牽イテ居リマス、走行哩ハ略似テ居リマス、其他先刻申シタ一哩當リノ人間モ、クドクシイカラ申シマセヌガ、一人ノ給料モ總テノコトハ私設會社ニ比較スルト大キクナルヤウデアリマス、其上ニ尙顧慮シナクテハナラヌコトハ、私設鐵道會社ガ官有ニナッテ來マスト、大藏省ノ收入ニハ大凡二百五十萬圓バカリアルヤウデアリマス、ナゼナレバ三十年ノ下半期ハ、三十九年ヲ全ク經過シナケレバ此稅ダケハ分リマセヌガ、此三十八年度ノ下半期デ増シタノヲ以テ推測シマスト各私設鐵道會社、即チ三十一會社ガ政局ニ出スベキ、國庫ニ出スベキ金ハ大凡二百四十萬圓バカリアルヤウデアリマス、府縣ニ納ムベキモノハ十八萬圓、町村ニ出スベキモノガ二十五萬八千圓バカリアリマス、此府縣稅ト市町村稅ハ暫ク除キマシテモ、國庫ニハ是ダケノ稅ヲ除クコトニナリマス、是ハ鐵道局ニ多クナル管ドアル、此儘持シテ行ダテモ國庫ニ増スベキ……國庫デハナイ、鐵道ニ増スベキモノデス、言ハニ一百四十萬圓ハ餘計ニ使ダテドウモ是ハ政府ハ私設鐵道ヨリ廉ラデアル私ドモノ見ル所ハ斯ノ如クデアリマスニ、依ダテドウモ是ハ政府ハ私設鐵道ヨリ廉クシテ營業ナサルト云フコトハ實際當務者ハ御信用が出來マスカ、ソレハ決シテ當務者其人ヲ責メルノデアリマセヌガ、私設鐵道會社ガ非常ナ小サナ經濟ヲ以テ月給フヤルベキモノヲヤラヌト云フ有様、「バラスト」が無クナシテモ會社ハ構ハヌ「ベンキ」ガ剝ヶテアツテモ構ハヌト云フヤウナ非常ナ經濟一方ニ依ダテサヘモが收入ハサウ澤山ナイ、ソレラ政府ガ御持チニナレバ「ベンキ」モ塗ル時ニハ塗ラケレバナラヌ、「バラスト」モ敷クダケハ敷カネバナラヌ、境遇が政府ガ持ツト云フコトニナレバ地方ノ者ガ承知シナイ、ドウシテモ經費ハ餘計ニナル、況ヤ私設鐵道が利益ニ汲々タル結果、十分修繕ニ金モカケズニ居ルノニ、政府が引取ラタナラバ一通リノ金デハ行クマイト思フ、シテ見レバ豫算、豫算デモナカラウガ此表ト云フモノハ、スマカリ狂ウテ決シテ政府ノ仰シヤラウケレドモ、是ハ議論デ、實際道が行ツテ居ルカラ己レノ方ニ引取シテモ出來ルト仰シヤラウケレドモ、是ハ議論デ、實際ウト私ハ確信スル、當務者御自身ハ出來ルト信セラレルカ知ラヌガ、私ハ御自身デモサウハ行クマイト云フ信念ガアリハシナイカト思フ、シテ見レバ豫算、豫算デモナカラウガ此表ト云フモノハ、スマカリ狂ウテ決シテ政府ノ仰シヤラウケレドモ、是ハ議論デ、實際道が行ツテ居ルカラ己レノ方ニ引取シテモ出來ルト仰シヤラウケレドモ、是ハ議論デ、實際ハ決シテ出來ヌト固ク信ズルノデアリマスガ、ソレデモ政府ハ矢張リ出來ルト云フコトヲ固ク御信シニナリマスカ、或ハ又他ニ何カ委シイ御調ベテモアリマスカ

○政府委員（仲小路廉君）曾我子爵ノ唯今ノ御意見、ト申シテ宜カラウト思ヒマスガ、政府ノ方ハ營業ガマヅイ、私設會社ノ方が營業が巧ミデアル、私設會社ガ持ツテ居ヅテモ餘リニ利ノ無イモノノ政府ガ持ツテ行ダテハ益々困ルダラウト云フ、斯ウ云フコトニナリマスヤウデスガ、政府ノ見ル所ニ依リマスルト私設會社ノ中ニ巧ミナ所モゴサイマセウガ、併シ政府ニ於テモ自ラ又取ルベキ所ガアルト思ヒマス、強ニ私設ノ方が萬事ニエラク、政府ノヤリ方ハ萬事がマヅイト云フコトハ斷シテ無イト存シマス、其中ニ唯ドウ云フ點ニ差ガアルカト申シマスレバ、幾ラカ政府ノ方ノ事柄ハ、ドチラカト申セバ規則ニカラマルコトモアル、形式ヲ全ウセネバナラヌコトモアリマスル譯デ、是等ノコトニ付キマシテハ、ソレハ多少政府

ノ方ガ第届ニアシテ、其點ニ費用ヲ要スルコトモアリマスト思ヒマス、是ハ此度矢張リ特別會計ヲ置キマスト同様ニ、同ジ政府ノ事業ト云々テモ此鐵道ノ如キ事柄ハ一ノ營業デアルガラ、成ルベク餘り形式ニカラマツタヤウナコトヲ爲サナイヤウニシテ、實蹟ヲ擧ゲテ、實地ノ動キヲ重ンズルヤウニシテ行キタイ、此點ハ出來得ル限りハ、私設會社デ經營ラシテ居ルヤウニ、總テノコトヲ簡捷ノ方法ヲ以テ行キタイ、斯ウ云フコトハ無論攷究イタシマス積リテアリマス、其他ノ點ニ付キマシテハ、サウ私設會社ノ方ガカリガ萬事ニ巧者ニアタ、政府ノ方ハ萬事不巧者ト云フコトハアリマスマイカト存ジマスガ、尙唯今數字ニ付テ或ハ走行哩數ナリ其外ニ依テ段々曾我子爵ノ御話ガアリマシタガ、之ニ付キマシテハ政府ノ方モ作業局長官が其事務ニ當ルト居リマスカラ、是ヨリ果シテ走行哩數ナリ何ナリニ於テ無駄ノ費用ヲ要シテ居ルカト云フコトヲ委シク申上ゲヤウト存ジマス

○下郷傳平君　過日本會合子爵カラ御尋ニテ、政府ハ鐵道ヲ國有ニシタ後之ヲ廣軌ニ變更スルカト云フ御尋ネノ御答辯ガ無カツヤウニ思ヒマスガ、其邊ハ如何デゴザイマズカ、軍事ノ關係ノアル人ノ話ニ依リマスト、若シ日本ノ鐵道が廣軌ニアタナラバ先年ノ日露戰爭ノ如キモニ箇月間位ハ戰局ヲ進メルコトが出來タデアラウト云フコトヲ承リマシタガ、果シテソレ程ノ功能ガアリマスモノデスカ、若シ效ガアルトスレバ政府ハ之ニ付テ何カ將來變更ナサル御見込デモアリマセウカ

○政府委員(仲小路廉君)　政府ハ鐵道ヲ廣軌ニスルカ、ドウカ、廣軌ノ利益ハドウカト云フ御尋ネテアリマス

○下郷傳平君　左様デゴザイマス
○政府委員(仲小路廉君)　狹軌鐵道ヨリモ廣軌ノ方が總アニ於テ宜シト云フコトハ論ハ無所ニアウト思ヒマス、サリナガラ此鐵道ヲ總ア廣軌ニスルカト云フコトハ廣軌ニナレバ至極結構デアリマスガ、併シ是ハ少カラズ經費ニモ關係スルコトデアリマスカラ、唯今買收後ハ總アノ線路ヲ廣軌ニスルト云フコトハ申上ゲル譯ニハ參リマセヌノデゴザイマス

○西村亮吉君　諸君、私ハ計算上ノコトノ質問ヲ致シタイコトヲ委員長ニ御願ヒシタガ、諸君ノ御許シヲ受ケマシテ、是カラ御尋ネテ致シマス、政府ハ二十六年度ヨリ既往十箇年遡リテ調ベテ……(聽取り難シ)先日御答ヘニナリマシタノアリマスケレドモ、此三十六年度カラ既往十年間ノ建設費ハ統計年鑑テハ調ベテ居リマスガ、統計年鑑ニ出テ居ル建設費ト云フモノハ、遞信省モ御認メニナツテ居ルデアリマセウカ、ソレヲ御認メニナツテ居ラスト私ノ計算ガ相違シテ來マス、ソレデ此十年間ノ建設費ノ増加シタ金高バ、ドレ程ニナツテ居リマスカ、其事ヲ伺ヒタインデアリマス、ソレカラ其次ハ此十箇年間ニ營業線路ノ延長シタル哩數ハ何程ニナツテ居リマスカ、是モ承リタイ、ソレカラ此計算ヲセラタ根據トセラル、所ノ二十六年度ヨリ既往十年間ニ平均シタル増進ノ歩合ト云フ、其歩合ハ何ミカラ割出シタ歩合デアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイ、此歩合ヲ伺ハヌト果シテ此御調ニナツテ居ルモノガ正シモノカ不確實ナモノカト云フコトが認メラレヌノアリマス、ソレカラ此國有トナッタ初年カラ將來十年間ノ建設費ノ増加ヲ、此丙號ノ表ニ依テ見マスト僅ニ三百四十一万千二百九十八圓ト云フモノニナツテ居ル、之ヲ一箇年ニ割シテ見マル僅ニ三十四圓バカリノ増進ニホカナラヌ、シテ見ルト十箇年間ノ延長モ實ニ些細ナ

モノニアラウト思フ、ソコテ私ノ取調ベテ居ル所アハ、三十六年カラ既往十箇年ニ過ラテ見マスト、一億九千九十三万千九百四十五圓增加ニナツテ居ル、私ノ調ベタモノハ……サウシテ見ルト一箇年ニ千九百九十万三千ト云フ増加ニナツテ居ル、シテ見ルト民設ニシテ居ルト十箇年ニ是ホドノ増進ニナツテ居ル、政府デ御持チナサルト僅ニ年ニ線路ノ……費用ノ……線路ノ増進ト云フモノハ二十四万ソコヽノモノニナル、非常ナ達ヒテアル、ソレデ民設アハ是ホド増進シテ、其増進シタ所ノ歩合ヲ以テコヽノ中ヘ御出シナサレテアル、此歩合ト云フモノハ定メテ三十七年三十八年カラドレホド増シテ居ル……二十八年カラニ十九年ニドレボド増シテ居ルト云フ、其歩合ヲ持シテ來テ掛ケタモノニアラウカト思フガ、ソレニドウシテナリマセウカ、サウスルト此割合ガ謂ハユル利子ノ割合ト云フモノト異ナル、八分四厘五毛、是ハ何カラ取シテ御出デニナツタモノカ、トント私ニハドレホド調ベテ見アモ分ラヌ、其御調ベノ次第ヲドウア委シウ、ドウゾ靜ニ承リタイト思ヒマス

○政府委員(平井晴一郎君)　西村君ノ御尋ネノ要領ハ三十六年以前十箇年間ニ私設鐵道ノ資本金ト云フモノが幾ラ殖エテ居ルカ、自分が統計年鑑ニ依ツテ見ルト一億九千幾ラト云フモノデアル、然ルニ政府ノ今回参考書トシテ提出イタシタ甲乙丙ニ乙丙ノ表ニ依ルト三十九年度以降十箇年間ニ建設費ノ増シタト云フモノハ僅カ三百何万圓、即チ一箇年ニ二十四万圓バカリニナルガ、ドウカ、三十九年度ノ益金ノ割合ヤウガ八分……

○西村亮吉君　チヨツト半バデゴザイマスガ……、ドウゾ一ツ順序ヲ立て、御答ヲ願ヒタウゴザイマスヨ、一ツニ御答ニナルト、ヒドウゴテツキマスカラ、先づ以テ最初ニ十六年度カラ既往十箇年ノ建設費ト云フモノハ、私ハ統計年鑑ニ依ツテ調ベテ居ルノテゴザイマス、政府ハソレヲ御認メニナルカドウカト云フコトヲ伺ヒ、サウシテ哩數ハドウナツテ居ルカト云フコトト、サウンシテ此經畫セラレタ歩合ト云フモノハ何ミカラ取出サレタ歩合テアルカト云フコトヲ能ク伺ウテ、ソレカラ此何デゴザイマス、政府ガ御持チナサレテ先キノコト、斯ウ順序ヲ立て、御願ヒタシタウゴザイマス

○政府委員(平井晴一郎君)　御答イタシマス、唯今統計年鑑ヲ本員ハ持テ居リマセヌデスカラ、果シテソレト達ヒガアルカドウカト云フコトハ申上ゲ兼ネマスガ、政府ガ取調ヘマシタ材料ニ就ア申上ゲタラ自ラ分ルグラウト思ヒマス、二十七年度トソレカラシテ三十六年度、即チ十箇年間ノ建設費ノ増加ト云フモノハ一億六千七百万圓バカリニナツテ居リマス、茲デシヨット御断リヲ致シマスノハ、此建築費ヲ譽ゲマシタノハ、其當時二十七年竝ニ二十二年ニ開業シテ居ル線路ニ對スル建設費アリマス、此以外ニ未開業線ノ資本ガアリマスノデゴザイマス、其點ハ統計年鑑ノ數字ト多少差ガアルグラウト思ヒマス

○西村亮吉君　サウスルト現今ハ既ニ開業ヲシテ居ツテ、其節ノ御調ベニナツタ節ニソレハ脱ケテ居ルガ、今日ハ矢張リ這入マテ居ル譯アリマスカ、茲ニ數字ヲ持テ居リマスガ、二十七年ニ私設鐵道ノ建設費ト云フモノハ五千七百二十六万一千餘圓、ソレカラ三十六年度ノ建設費ト云フモノガ一億二千四百九十八万餘圓ト

云フモノゾ、丁度之ヲ差引キマスト一億六千七百幾ラトナリマス、今西村君ノ仰シヤツタノト比ベルト三千万圓バカリ差ガアリマス譯ニナリマス、是ハ蓋シ其前後ニ於テ未成線ノ建設費ガ這入ラテ居ルデハナイカト本員ハ考ヘマスガ、此間ニ鐵道線路ガドレダケ殖エタカト云フノハ、是モ遺憾ナガラ今數字ヲ持テ居リマセヌカラ、チヨット御答イタシ兼ネマスガ、取調ヘテ申上ゲマセウ、是モ年々鐵道局ノ年報ニ出シテ居ルノデゴザイマスカラ、蓋シ統計年鑑ニ出テ居ルモノト餘リ相違ノアル譯デナイト信ジマス、ソレカラ此政府ガ持ツテ以後ノ……

○西村亮吉君 チヨット尙伺ヒマス、哩數八如何テアリマス

○政府委員(平井暉一郎君) 喧嘩ハ今申上ケタヤウニ調べテ物ヲ持テ居リマセバ
今調べサシテ居リマスカラ調べテ申上ゲマス、ソレカラ利益ノ割合、即チ政府が統一ノ後

ニ經營シテ行ク場合ニ於ケル營業ノ成績ヲ計算イタシマシタノハ……

○西村亮吉君 億両ヒマス此十箇年間ノ増進歩合ト云フモノハ、唯ニ此二十七年二十八年ニ増シタモノ、其間ニ何ボ増シテ居ルカ、ソレカラ一十九年カラ三十年ニ増シタモノハ何ボト云フ其歩合ヲ取シテ掛けタモノヲ、コ、ナ三十九年ノ建設費ト云フモノヘ御置キナサレタモノデアルカ、サウスルト其次ノ八分四厘五毛ト云フモノハ、何ノ割合カラ御置キナサレタカト云フコトヲ……

合ハ八分零八毛デアル、二十八年ハ是が九分一厘七毛、二十九年ハ九分三厘、三十年ハ七分一厘二毛、三十一年ハ六分、三十一年ハ七分零七毛、三十三年ハ八分零六毛、三十四年ハ八分一厘七毛、三十五年ハ八分零六毛、三十六年ハ八分四厘六毛、斯ウ云フ割合ガ……益金ノ割合が出て居リマス、サウシテ此益金ノ増減ノ歩合ヲ調ベマスト、二十八年度ハ二十七年度ニ比ヘテ一割三分……四分九厘殖エテ居リマス、又二十九年度、二十八年度ニ比、二一分四厘三毛七分六厘五毫也。

二十九年度ニ比較シテ一割二分六厘……九厘減シテ居リマス、割合ガ……三十一年度
一年度ハ又二割六分一厘一毛減シテ居リマス、斯ウ云フヤウニ年々前年ニ對スル益
金ノ歩合ノ増減ヲ見マシテ、サウシテ此益金ノ増減スル割合ノ平均ヲ申上ゲマスト、ソ
レガ此参考書ニ書イテアル一分四厘三毛ト云フモノデスガ、ソレデス、三十六年度ノ八
分零九毛ト云フモノヲ一分四厘三毛ノ割合デ年々割合エテ行クモノト計算ヲ致シマスレ
バ、三十九年度ハ八分四厘五毛ニナル、斯ウ云フ割合ニナル、事實ハ今申上ゲタ様ニ
此三十六年度ニ於キマシテモ總テ開業線路ニ對シマスルモノハ既ニ八分四厘六毛ニナッ
テ居ル、併シ三十六年以前五箇年平均ヲ取シテ八分零九毛ト云フモノガ三十六年度
ノ利益デアルト假定ヲ致シマシテ、サウシテ今ノ十年間ノ増減ノ割合ヲ調べマシテ一分
三厘四毛ゾ、年々増エテ行ク、斯ウ云フコトニナリマス

○西村亮吉君 サウ致シマスルト、是ハ一ツ伺ハヌト分ラヌ、二十八年ハ建設費ト云フモノハ七千七十三万五千四百六十三圓、一十九年ハ八千六百三十二万四千九百八十八圓、斯ウナツテ居リマスガ違ヒマスカ

ニ使テ居ツテ工事ニ着手シテ居ツテモ未ダ開業ヲシテ居ラナカツタ線路ノ建設費ト云フモノヲ除イテ計算シテアリマスカラ、ソコニ僅カツヽ差ハアルト思ヒマズ

○桑田熊藏君 先刻私ノ質問ニ對シテ政府委員ハ政府ノ計算ハ違算ハ無イ、斯ウ云
フ御答辯アリマシタガ、勿論其積リテ、違算が有ル無イヲ調べルノハ我ニ立法部ノ責
任デゴザイマスカラ、尙ソレニ付テ伺ヒタイノデスガ、此公債償還年限計算表ト云フ中
ニ建設費ニ對スル益金ト「統一」ノ結果ヨリ生スル經費節約額トスウニ二項アリマス
ガ、先ツ第一ノ御尋ハ此益金ト云フモノノ計算法ハ政府委員ノ説明ニ依ルト現在ノ民
設會社ノ計算ヲ基礎ニシテ居ルト云フ御答辯ノヤウニ伺ヒマシタガ、此民間ノ會社ノ益
金ノ計算ニハ色々ノ標準ガ違ヒマシテ、種々ノ計算ノ方法ガアルト云フコトヲ聞イテ居リ
マス、例フ舉げテ言フト或ル會社ハ新三線路ヲ延長シャウト云フ場合ニ、自己ノ線路ニ使
フ所ノ材料ヲ運搬スル其運搬費ヲ矢張リ益金三入レテ居ル、或ハ會社ハサウ云フ計算法
ヲ取ラナイデ、自己ノ線路ノ延長ニ使フ材料ト云フモノノ其運搬費用ハ是ハ益金ニハ
計算シナ、斯ウ云フ計算法アル、ソレハ一ツノ例デアルガ、其外ニモ種々此益金ノ計
算法ニ於テハ會社毎ニ趣が違ツテ居ルト思フ、然ルニ此政府ノ計算ニハサウ云フ區別ハ
殆ド御認メニナッテ居ラヌカノ如クニ伺ッテ居ル、詰リ帳面上デ現ハシテ居ル所ノ現在ノ
會社ノ益金ヲ此所ヘ持ツテ來テ、初年度ニ於テ二千百万圓バカリノ益金ガアル、斯ウ
云フ計算デアル、若シ之ヲ細密ニ各會社ノ帳簿ヲ調べテ益金ノ種類ヲ分ケテ調ベタ日
ニハ餘ホド違算ガアリハシマイカト思ヒマス、是が第一ノ質問第二ハ「統一」ノ結果ヨリ生
スル經費ノ節約額ト是ハ初年度ニ於テ約百万圓バカリアル、是ハドウ云フ計算ノ法デア
リマスカ、ドレノ項目が減ルト云フ御見込アリマセウカ、或ハ役員ノ給料トカ、或
ハ消耗品トカ種々ノ項目モアリマセウガ、其項目ノ極メテ明細ナルモノヲ承リタイ、是ミノ
項目ニ於テ幾ラ減ル、是ミノ項目ニ於テ幾ラ減ルト云フ明細ノ計算書ヲ拜見シタイ
○政府委員(山之内一次君) 此建設費ニ對シマスル所ノ益金ノ取方ニ付テ種々ノ
方法ガアルト云フ御話デゴザイマスガ、是ハ大體ハ此省令ヲ以チマシテ營業ト云フモノハ
是ミト云フ區別ガ付イテ居リマスカラ多少ツノ違ヒが生ズル、全ク違ヒが無イトハ申サ
レマセヌケレドモ、先ツ年々此決算ニ依リマシテ益金ノ出テ居リマスルモノハ間違ガ無イモ
ノト認メテ居リマスノデアリマス、ソレデ此年々ノ總會ニ掛ケマンテ決定イタシマシタ所ノ益
金ト云フモノガ是ガ元ニナッテ居ルノデアリマス、ソレデ建設費ハ先刻平井長官ヨリ申上
ゲマシタ通リノ次第アリマシテ、ソレト此益金ノ割合ト云フモノガ元ニナッテ居ルノデアリ
マス、ソレカラ第二ノ御問ニ付テ御答ヲ致シマスハ是ハ總經費ヲ減ジ得ルモノガ
ノデアルカト云フコトニ付テ御問ニ付テ御答ヲ致シマスハ是ハ總經費ヲ減ジ得ルモノガ
リマス、此二ツノ費用ヲ合セマシタモノガ其殘リデアリマス、其ニツカラ成立ツテ居リマス
○桑田熊藏君 然ラバ政府委員ハ此益金ノ計算ニ付テ多少ノ違算ハアルト云フコト
會社ガ違ツテ居リマスル爲ニ連帶運輸ヲヤツテ居リマス、此連帶運輸ノ調査ニ要シマスル所
ノ費用トソレカラ矢張リ連帶ノ關係カラ生ジマスル所ノ此連絡驛ノ車輛係ト云フ者ガア
リマス、此二ツノ費用ヲ合セマシタモノガ其殘リデアリマス、其ニツカラ成立ツテ居リマス
ハ御認メニナッテ居リマスカ、ソレカラ又第二項ノ質問ニ對シテハ、ソレ以上ノ精密ノ答
辯ハ出來マセヌデスカ

○政府委員(山之内一次君) 違算がアルト云フコトハ認メテ居リマセヌ、多少ノ算盤ノヤリ方ニ違フ所ハアルカモ知レマセヌケレドモ、營業費ト云フモノハ斯ウ云フモノデアル、資本勘定ト云フモノハスウ云フモノデアルト云フコトガ極メテアリマスカラ、ソレニ依テヤクタモノデアリマスカラ、此決算報告ニ依リマシテ確定イタシタモノヲ元ニ致シテ居リマズノデ、間違ガアルト云フコトハ認メテ居リマセヌ

(子爵曾我祐準君「唯今ノ……」ト述フ)

(桑田熊藏君「算盤ノ取り方が違フ、併シ違算ハ全ク認メナイト云フハ、ドウ云

フコトカ分ラナイ」ト述フ)

○委員長(侯爵黒田長成君) チヨット……ドウカ一人ヅ、發言ヨリ願ヒマス

○政府委員(山之内一次君) ソレハ切捨デヤトカ種々ノモノニ付キマシテ多少ヅ、算盤ノ取り方ハ人々ニ依リテ多少ノ違ヒハアラウト思ヒマス、サウ云フ多少ノ違ヒハアラウト思ヒマスガ、決算報告ト云フモノヲバ不當ノモノト認メテ居ラヌト申上ゲタノアリマス

○子爵曾我祐準君 是ハ平井サンニ御尋イタシタ方ガ宜カラウト思ヒマス、恐ラクハ鐵道局長ハ御存シアリマスマイ、是ハ己レガ線路ヲ延バス爲ニ「バラスト」ナリ枕木ナリ持ツテ行ク費用ヲ利益金ノ計算ニ入レタリ入レナカツタリスルハ皆會社ニ依テ違フ、是ハ平井サンハ御承知ト思フ、御承知デナインラバソレダケノ話デアリマスガ、違ヒマセウ、現ニ……

○政府委員(平井晴二郎君) ソレハ會社ニ依リテ多少違リテ居ルト考ヘテ居リマス、現ニ政府ニ於キマシテ此建設費ト云フモノト作業費ト云フモノハ全ク會計ヲ別ニシテ居ルカ爲ニ極ク廉イ運賃デハゴザイマスケレドモガ、無賃デハ運ンデ居リマセヌ、會社ニ依リテ必ズ運賃トシテ幾分ヲ徵收シテ居ルモノハ、全ク自分ノモノダカラト云ウテ無賃デ運ンデ居ルモノ必ズアリマセウト考ヘマス、序デナガラチヨット先刻西村君カラ御尋ニナリマシタニ、二十七年カラ三十六八年マテノ間ノ十箇年ノ鐵道哩數ノ増加ノ數ヲ調ベマシテゴザイマスカラ申上ゲマスガ、十箇年ノ間ニ千六百三哩殖エテ居リマス、尙厚デニ申上ゲマスガ、此參考書ト致シマシテ出シアリマスル乙丙ノ計算書ノ建設費ノ増加ト云フモノヲズット舉グテ居リマスガ、此建設費ノ増加ノ中ニハ新ニ鐵道線路ヲ延バスト云フモノハ一モ這入シテ居リマセヌ、即チ現今政府デ申シマスレバ此線路ノ必要ニ應シア或ハ車ヲ増ストカ乃至大キナモノニ至リマスレバ複線ヲ造ルト云フヤウナ謂ハユル改良費ナルモノダケヲ見テ居リマスノデ、新規ノ線路ノ分ハ一モ見テ居リマセヌカラ、先刻御話ノ如ク私設鐵道ノ場合ニハ十箇年ノ間ニ一億七千イクラ資本が殖エテ居ルガ、今度ノ計算ニ依ルト其三十九年度以下十箇年ノ間ノ建設費ノ増加ト云フモノハ僅カデアル、是ハ僅カナ皆テス、トニナリマスルト、會社ニ取リテハ政府デ御認メ程ノ利益が無カツタ譯アゴザイマスナ

○政府委員(平井晴二郎君) チヨット御尋ノ……

○西村亮吉君 其延長ノ費用ハ建設費カラ除イテアルト云フ御話デゴザイマスガ……

○政府委員(平井晴二郎君) 今度提出イタシマシタ参考書ヲ建設費ノ増加ト云フ

金額ハ、線路ノ延長ニ對スルモノハ一ツモ是ハ算入シテ居リマセヌノデゴザイマス

○西村亮吉君 既往ノハドウデス

○政府委員(平井晴二郎君) 既往ノハ無論這入テ居リマス

○委員長(侯爵黒田長成君) 此場合ニ於テ一應休憩ヲ致シマスガ、先刻伊集院子爵カラ委員外デハアルガ此委員會ニ於テ質問ガ致サレタイト云フコトデゴザイマシタガ、許可イタシテ宜シウゴザイマスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(侯爵黒田長成君) ソレナラバ一應休憩イタシマス

午前十一時五十四分休憩

午後零時五十五分開會

○委員長(侯爵黒田長成君) 午前ニ引續イテ開會イタシマス

○伯爵廣澤金次郎君 委員諸君ノ御許シヲ得マシタカラ質問ヲ一ツ一ツ致シタイト思ヒマスガ、私ハ此問題デ一番質問イタシタノハ、實ハ財政當局者大藏大臣デアリマスガ、幸ニ今遞信大臣ガ御出席デアリマスカラ、遞信大臣ニ御質問イタシタトイ思ヒマス、第一ハ過日本會ノ場合ニ申シマシタコトデゴザイマスガ、即チ鐵道抵當法案ニ關シマシテ質問ガ致シタウゴザイマスガ、是ハ本會議ノ時ニ質問イタシマシタコトハ最早追窮スルノ必要ハ無トイ思ヒマス、ナゼナラバ幾ラ質問ヲ致シマシタ所ガ、唯ダ權宜ト云フ外ニ御答辯ハ無イノデ、且ツ過日來委員會ノ席ニ於キマシテ首尾一貫ト云フコトハ最早骨抜ト思ヒマスカラ、ソレニ對シテハ私ハ質問ハ致シマセヌガ、唯此鐵道抵當法案ガ發布セラマシテ以來、外資ノ成立シタモノガ一つアリマス、即チ關西鐵道デゴザイマスガ、之ニ對シテ遞信大臣ニ御質問シタノハ此鐵道抵當法ノ第二十條ニ據リマスト、會社ガ鐵道財團ヲ讓渡シタ場合ニハ此抵當權者ハ外人デ宜シウゴザイマスガ、抵當權者ハ或ル期間内ニ異議ヲ申立テルコードが出來マス、其異議ヲ申立テタ場合ニハ行政官廳ノ裁定ヲ求ムルコトニナシテ居リマス、而シテ此關西鐵道ノ外債ノ即チ資本家ガ、若シ政府が關西鐵道ヲ買收シタ節ニ異議ヲ申立てマシタナラバ、行政官廳トシテ遞信省ハ如何ナ御裁定ヲナセラマスカ、是等ハ將來、過日阪谷大藏大臣ガ言ハレタ通り内外ノ資本ノ共通ト云フコトニ付キマシテハ外國ノ資本家ト云フコトニハ非常ニ影響スルコト、思ヒマスカラ、サウ云フ場合ニハ抵當法ノ第二十條ノ異議ヲ申出テルト云フヤウナ場合ニハ如何ナル處分ヲナサルカト云フコトヲ第一ニ御答辯ヲ煩ハシタ、其次ハ先キホド遞信次官ノ御話デアリマシタガ、將來此鐵道ヲ純粹ノ特別會計ニスル、即チ從來ノ官設鐵道ニ注ギ込シダ資本ヲニテ資本トシ、之ニ加フルニ此度ノ買收ノ價格、是モ資本ノ中ニ加ヘル、其他將來是ヨリ敷設スベキ線路或ハ一期線二期線モアリマセウ、是等ニ要スル資本モ資金ニ加ヘル、而シテ將來鐵道ヨリ生ズル收入ヲ以テ是等ノ資本ニ對スル利息ヲ拂ヒ、加フルニ元金モ全然這入シテ行クト云フコトノ御話デアリマシタガ、併ナガ

殆ド一割ナラ一割ノ賃率ヲ保テ行キマスガ、併ナガラ官設デモ私設デモ將來、資本ノ増加ト云フコトハ今日ニ趨勢アラウト思ヒマス、先ツ今日ニ於テ内外ノ明カニ認メテ

居ル倫敦ノ「ロンドンノースウェスターント」云フ立派ノ會社、是等ニ於キマシテモ段々社債が殖エテ今日ニ至テハ四千万ノ社債ガアリマスガ、併ナガラ配當ナドヘ以前ノ配當ト

同様ニシテ居ル、鐵道會社ノヤウナ營業會社ハ、鐵道ヲ拘ラズ總テノ營業會社ト云フモノハ段々改良スルニ從ヒ又配當益金ノ賃率ト云フモノヲ保ツ爲ニ、ドウシテモ將來資本ノ増加ト云フコトハ免レヌコトダラウト思ヒマス、加フルニテス、此政府モ此三十何會社ト云フコトアリマスガ、此私設鐵道ヲ買收シタト云ツテモデス、今マテ御經畫ニナツテ居ル一期線二期線、二期線ハ別トシテ一期線ダケハ必ズ將來御敷設ニナルコト、信シテ居リマス、左モナケレバ政府が折角目的トセラル、交通ノ發達、工業、產業ノ發達ト云フコトハ出來マセヌカラ、一期線ノ如キハ必ズ近キ未來ニ於テ御敷設ニナルコト、考ヘマス、之ニ要スル資本ハ如何程アルカト云フコトヲ伺ヒタク、即チ政府が將來ノ鐵道ノ策トシテハ今日ノ四億七千万圓ノ公債デ、之ヲ四十箇年ニ還付スルト云フ表ハ、其表ノ善惡ハ申シマセヌガ出來テ居リマス、將來ドノ位マテ公債ヲ發行シテ、ソレハドウ云フ工合ニ償還ヲナサルカ、即チ四十箇年マテハ將來鐵道公債ト云フモノハ一文モ發行ナサレヌ御積リデアリマスカ、若シ發行ナサルトスレバ四十箇年ニドノ位ノ公債ヲ發行スルト云フ計算ガ立ツテ居ラウト思ヒマスカラ、若シ發行ナサルトスレバ其償還ノ方法ハドウナサルカト云フコトヲ一ツ伺ヒタイ、ソレトモウ一ツ伺ヒタイノハ…マア其二點ヲ先キニ御答辯ヲ煩シタイト思ヒマス

○政府委員（仲小路廉君） 廣澤伯爵ノ御尋ねノ先づ第一ノ點カラ御答ヲ致シマス、今朝私が桑田君ニ對スル答辯中ニ鐵道ノ經費ニ付キマシテハ將來特別會計ヲ立て、參ルト云フコトヲ申シマシタ、ソレニ付ア英吉利ノ鐵道會社ヲ見テモ段々資本が増加シテ行クノアル、資本が増加シテ行ク趨勢ガアルト云フ仰セ、ソレハ如何ニモ其通リテアリマス、年々歲々資本が増加シテ參ルダラウト思ヒマス、尙ソレニ付キマシテ政府が此一期線及豫定線ニ付テハ將來ドウ云フ經畫ヲスルカト云フ、斯ウ云フ御尋ねテゴザイマスガ、政府ハ此度鐵道ヲ國有ニ致シマスルト同時ニ尙將來連絡上ノ必要ヨリ生ズル線路ノ延長ハ勿論之ヲ爲サナケレバナラヌト云フコトニ心得テ居ルノアリマス、併ナガラ是ハ矢張リ一般財政ノ情況ト相伴ハナケレバナラヌ譯アリマスカラ如何ニ緊要アルト申シテモ、多額ノ公債ヲ一時ニ出シテ市場ノ恐慌ヲ來タスヤウナコトハ政府トシテハ出來得マセスコトダラウト考ヘマス、將來ノ經畫ヲ致シテ居リマス線路、尙是ダケノモノヲ延長すべ宜カラウト云フ經畫ハ固ヨリ當局トシテ其調査ハ致シテ居リマス譯アリマス、併シ是ハ一般財政ノ情況ト尙社會經濟上ノ影響等モ能ク考ヘマシテ、ソレ等ノ憂ヘノ無イ程度ニ於テ必要ノ部分ヲ延長モシ擴張モ致シタイト云フ考デアリマス、此事ハ別ニ國有ニ關係ヲ持ナセヌデ、矢張リ是マテ通り一日モ早ク必要ノ線路ノ完成ヲ期シマス積リデアリマス

○伯爵廣澤金次郎君 私ノ第一ノ質問ニハマダ御答辯ガアリマセヌガ、ソレヲ伺ツタ上デ第二ノコトニ付イテモ尙申シタイトコトガアリマス

○國務大臣（山縣伊二郎君） 唯今手許ニ法律案ヲ持テ居リマセヌデ、ソレヲ見タ上

テ御答ヲスルコトニ致シマス

○伯爵廣澤金次郎君 ソンナラ尙…第二ノ質問ニ對シテ遞信次官ガ少シ私ノ質問ノ意味ヲ誤解サレテ居ルヤウデアリマスカラ、モウ一應繰返シテ申シマスガ、私ハ政府が

經濟上ノ情況ヲ顧ミズ公債ヲ發行スルト云フ意味デハナイ、四十箇年間ノ中ニ、四十箇年ヲ以テ鐵道買收ノ爲ニ發行シタ公債ヲ償還スルト云フコトニナツテ居リマス、併ナガ

ラ今既ニ政府委員ノ自白セラレタ如ク、今日モ千百何十万デアリマスカ、今ノ數ハチヨウト伺ヒ損ネマシタガ、未成線ノ…未成線ヲ敷設スル爲ニ毎年ソレダケ發行スルト云フ

コトニナツテ居ルト云フ御話テゴザイマシタガ、是等ノ未成線路ノ敷設ニ要スル公債モ先キ程ノ御話デ、御話カラ考ヘテ見マスルト謂ハユル特別會計デ、即チ鐵道ノ收入ヲ以テ是等ノ利息ニ充テ、總テ之ガ特別會計ニナリマス以上ハ、最早全然一般會計ト緣ノ切レ

ルコト、考ヘマス、ソレニ此表ニ依リマスルト改良費ハ四十年間ニ僅カ千七百万圓ニナツテ居リマスガ、此四億七千万圓デ私設鐵道ヲ買收シテ、今日ノ官設鐵道ノ線路ヲ茲ニ加ヘルト殆ド六千哩近クノ政府鐵道ニナル、政府ハ其鐵道ヲ經營シテ行クニ付テ此改

良費ト云フモノハ斯ノ如キモノデ足リルカト云フコトヲ今日種々ノ技術家ニ聞イテ見テモ到底斯ノ如キ少額ノ改良費デハ今日政府デ圖ラレルヤウナ改良ハ出來ヌト云フ説

デアリマス、併ナガラ是ハ銘々ノ解釋テゴザイマスカラ、政府ハソレデ足リルト仰シヤレバ仕方ガアリマセヌガ、サウ云フヤウナ説モアリマスカラ單ニ未成線ノ敷設ノミニ拘ラズ將來今マ

デノ鐵道ヲ改良シテ行クニモ、或ル場合ニ於テハ隨分鐵道公債ヲ發行シナケレバナラヌヤウナ場合ガアリハセヌカト思ヒマスガ、若シサウ云フコトガアリマスルト、或ル場合ニ於テハ四十年間ニ償還スルト云フ表マデ根本カラ崩レヤセヌカト思ヒマスカラ、寧ロ政府ハ四十年ノ間、公債ハ一文モ發行ハセヌ、一般ノ歲入ニ殘餘ガアッラバ、ソレヲ以テ未設線路ヲ敷設スルト云フ御考ヘナラバ免モ角、サモ無ケレバモウ少シ委シク御説明ヲ伺ヒタ

イト思ヒマス

○政府委員（仲小路廉君） 別段御尋ねヲ誤解シテ居ラウトハ私ハ存シマセヌ、先刻申上シマシタ通リニ此度國有ト致シマスル法律ノ參考トシテ附ケマシタ此表テゴザイマスガ、是ハ詰リ此度買收イタシマスル鐵道公債ノ元利ヲ償却スル割合ヲ付ケマシタモノデゴザイマス、從テ此表ノ中ニモ當初ハ幾分改良費ニ向テ不足ヲ告ケテ居ル所モゴザイマス譯アリマス、又十五年以後ハ一定ノ改良費ヲ見積テ居リマス譯テゴザイマス、詰リ是モ三分ヲ改良費ニ投ヅル、サウシテ將來償還ノ日安ヲ立テ居リマス譯テ、之ヲ實際ニ應用シマスル時分ニハ波動ヲ生ジマシテ、或ル年ニハ餘計ニ要ルコトモアリ、又翌年ハ左ホド要ラスト云フ年モ出來テ參リマス譯テ、是等ハ實際ノ經畫ヲ致シマス時分ニハ自ラ其内ニ波動ヲ生ズルコトガアリマス、サリナガラ之ヲ通シテ見マスレバ四十箇年後ノコトハ償還が付クト云フコトテ此表ヲ計算シマシタ譯アリマス、ソレカラ尙從來持シテ居リマス官設鐵道ノ分ニ於キマシテハ、是ハ既ニ廣澤伯爵モ御承知テゴザイマス通り、

マスノゴザイマス、之ヲ或ル時ニハ全體、此鐵道敷設法ニ屬スルモノハ御承知ノ如ク、總テ鐵道公債事業公債テヤツタ譯アリマス、併シ是モ此財政上ノ變遷ニ伴ヒマシテ或

ル場合ニハ一般ノ歳入ヲ以テヤツタノデゴザイマスガ、此度丁度本年度ノ豫算ヲ議定シマス當時ニ大藏大臣ノ言ハレマシタ通り此度更ニ鐵道及電話ニ關スルモノハ總て事業公債ニナツタノデアリマス、隨フテ今年度ニ要シマス八百万圓、ソレカラ改良費ノ方ノ三百萬圓、是以テ事業公債ノ方ノ分ナノデゴザイマス

○伯爵廣澤金次郎君 公債デスカ

○政府委員(仲小路廉君) 左様デゴザイマス、ソレデゴザイマスカラ、此事ノ問題ニハ關係シマセヌ、此モトノ場合ニハ矢張リ同様ニ事業公債ヲ以テヤツテ居ツタノデ斯様ニシテ參ツタノデゴザイマス、ソコヘ持ツテ行クテ此度鐵道ヲ買收スルノ公債ヲ募集スル時分ニ、多少影響ガアルカ無イカ、ソレハ影響ガアルカモ知レマセヌガ、併シ今申上ゲマシタ通り餘リ影響ヲ及ボサヌ範圍内ニ於テ出來得ルダケ事業ヲヤツテ參リマス、ソレニ就キマシテハ丁度、此度買收スル分ニ影響ヲ及ボサヌヤウニ五箇年間ニ割當當付ケマシテ、跡ノ敷設延長ニ關スル分ハ一般ノ財政、一般ノ會計ニ影響ヲ及ボサナイヤウニ政府ハ經畫シテ行キタイ、斯様ニ……

○桑田熊藏君 鐵道局長ニ伺ヒマス、午前ニ質問イタシテ置キマシタガ、此統一ノ結果カラ生ズル經費ノ節約ノ額ニ就キマシテノ御答辯が甚ダ要領ヲ得マセヌ、唯經費節約デアルト云フ、讀ンテ字ノ如キヤウナ御答辯ニアツテ、詳細ナル御説明ヲ求メマシタケレドモ、一向説明が詳細ナニ、唯ヨ、ニ書イテアル通リノ説明デ、尙委シク御説明が出来スト仰シヤルノデゴザイマスカ、或ハ出來テモサレナインデアルカ、如何デアリマスカ、承リタ

○政府委員(山之内一次君) ドウ云フ風ニ割出シタカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、サウスレバ分ツタモノガアリマスカラ申上ゲマス

○桑田熊藏君 左様デゴザイマス

○政府委員(山之内一次君) ソレハ何デゴザイマス、現在官設鐵道ニ此入ニ居リマス所ノ總經費ト云モノガ分ツテ居リマス、其總經費ヲ本ニ致シマシテ、此私設鐵道ハ

總經費ト云モノヲ割出シマシタノデゴザイマス、其割出シマシタ本ハ開業哩ノ一哩當リト云フモノヲ一ヶ出シマシテ、ソレカラ又モウ一ヶハ總收入金ニシテ割當テマシテ、サウシテ、一万圓ニ付テ幾ラト云フモノヲ割出シテ、此兩方ノ收入ヲ本ニシマシタト、哩ヲ本ニ致シマシタノト、一ヶ出シマシテ之ヲ平均イタシマシタモノヲ先づ此官設鐵道ニナツテ事業ニ要ルダケノ總經費ト云モノニ致シマシタノデゴザイマス、ソレデ今マデ私設鐵道ノ總經費ニ這入テ居ル數ハ分ツテ居リマスガ、此内カラ今ノ算法ニ依リマシテ割出シタダケノモノヲ引イタノデ、其引イタダケノモノガ即チ節約ノ出來得ルモノト認メマシタノデゴザリマス

○桑田熊藏君 然ラバ平均ノ數カラ御出シニナツタノデアツテ、一哩ニ對シテ幾ラト云

ケノモノヲ引イタノデ、其引イタダケノモノガ即チ節約ノ出來得ルモノト認メマシタノデゴザ

リマス

○政府委員(山之内一次君) 唯今御尋ネノヤウナ風ニ致シマセヌデゴザイマス、此總

經費ト云モノハ總テヲハ初メ官設鐵道ノ開業哩ノ一哩ニ就テノ位ニナツテ居ルカ、立ナラバ之ヲ別ルト云フコトデゴザイマスカラ、其當時ニ生ズル異議ノ申立ノ其内容如何ニ

ソレカラ收入ノ方ヘ參リマシテ、總收入ノ一万圓ニ對シテ幾フニナツテ居ルカト云フコトヲ割出シマシテ、此割出シマシタノガ即チ此私設鐵道ノ方ニ當ア嵌メテ參リマスノデ……

○伯爵廣澤金次郎君 唯今、私ノ第一ノ質問ニ對シテ御答辯ガアリマセヌデゴザイマスガ、是ハ戰爭中ニ此非常ナ外債ヲ募リ、又將來ニ於テモ或ハ外資ニ俟タヌケレバナラス時期ガアルカモ知ラヌト考ヘマス、又既ニ募集シタ外債ノ資本家ニ對シテ非常ニ此際明瞭ノ御答辯ガアルト云フコトハ、國家ノ信用上必要デアラウト考ヘマスカラ、今日御答辯が出來ナケレバ御評議ノ上、御答辯ヲ願ヒタイト考ヘマス

○政府委員(仲小路廉君) 廣澤伯爵カラノ御質問ニ對シテ御答辯シマス、非常ニ重要ナモノデアルカノ如ク仰セニナリマシテ、即座ニ答辯が出來ナケレバ調査ヲシロト云フコトデゴザイマスガ、第一ノ御尋ネハ昨年出タ此鐵道抵當法ニ關シタモノデアル、ソレト今度ノ國有トハ趣旨ガ違フデハナイカト云フ、斯ウ云フ趣旨、此コトハ既ニ過日總理大臣ヨリモ遞信大臣ヨリモ……

○伯爵廣澤金次郎君 私ハサウ云フ質問ハ致サヌ積リデアリマス

○政府委員(仲小路廉君) 左様ニ御趣旨アラウト存ジマスルノデ、既ニ昨年鐵道抵當法ヲ作ツタ時分ニハ、外貨ヲ輸入シテ謂ハユル私設ヲヤツシテ行ク積リデアラウ、然ルニ今日國有ニスルト云フコトハ前後矛盾シハシナイカト云フ御趣旨……

○伯爵廣澤金次郎君 マルテ私ノ質問ヲ誤解ナサレテ居ルト存ジマス、私ハサウ云フ質問ハ致シマセヌ、今日ハ最早其コトニ就テハ質問ヲ致シマセヌト申シテ置キマシタ、即チ關西鐵道ノ例ヲ取テ、斯ル場合ニ異議ヲ申立ツタ場合ニハ行政官廳ハ裁定ヲセンナラヌカ、如何ナル裁定ヲナサルカト云フコトヲ伺シタノデアリマス

○子爵曾我祐準君 政府委員ハ鐵道法案ヲ持タナイヤウデゴザイマスガ、御貸シ申シマセウ、コ、ニゴザイマスアリマスカ

○政府委員(山之内一次君) 今持シテ參リマシタ

○子爵曾我祐準君 サウデスカ

○政府委員(仲小路廉君) 第一ノ點ハ其點ニアツタラウト思ヒマスカラ、御答シマシタ、第一ノ分ハ詰リ鐵道抵當法ニ對シテ異議ノ申立が出タキニハ、ドウスルカ、斯ウ云ヌ、第二ノ分ハ詰リ鐵道抵當法ニ對シテ異議ノ申立が出タキニハ、ドウスルカ、斯ウ云ヌ、コトデゴザイマスガ、是ハ固ヨリ政府ニ於テハ公平ノ處置ヲ取リマス考テ、適當ノモノニ對シテハ適當ノ方法ヲ取リマス積リデアリマス、決シテ不公平ノ處置ハ取リマセヌ積リデアリマス

○伯爵廣澤金次郎君 私ハ今ノ御答辯ニハ少シモ満足イタシマセヌ、適當ノ處置ト云

ノハ凡ソ今日斯ウ云フ問題ガ起ルダラウ、斯ウ云フコトハ豫テ御解釋テアラウト思ヒマス、ソレコト今日マダ方針ガ御定メニナラスト云フコトデアルナラバ、ソレハ曰ムヲ得マセヌガ、

唯適當ノ處置ト云フコトハ本員ハ少シモ了解イタシマセヌ、モウ少シ御親切ニ御説明アラムコトヲ希望イタシマス

○政府委員(仲小路廉君) 異議ノ申立ガアツタラバ、ドウ云フ處置ヲスルカト云フ、

スウ云フコトデゴザイマスガ、サウ云フ場合ニハ丁度裁判官ガ裁判ヲ致シマスル時ニ出來得ル

限り公平ノ處置ヲ取テ其異議ノ申立ガ相當ナラ相当ノ裁定ヲスルシ、不當ナ異議ノ申

立ナラバ之ヲ別ルト云フコトデゴザイマスカラ、其當時ニ生ズル異議ノ申立ノ其内容如何ニ

依ル譯ナノデ、其内容が道理アル異議ノ申立ナラバ是ハ採用サル、シ、其内容が道理ノ無イ申立ナラバ採用サレナイ、斯様ニナルノデアリマス、デ政府ハ其時ニ對シテ適當ニ公平ノ處置ヲ取ルト云フ、斯ウ云フ趣旨デアリマス
○伯爵廣澤金次郎君 若シ異議ガ相當デアッタ場合ニハ外債ヲ成立シテ居ル、……ソレハ關西鐵道ノ社債ハ如何ナル價格ヲ以テ、如何ナル方法ヲ以テ、外債ノ資本家ニ御償却ニナルカト云フコトヲ伺ヒタイト考ヘマス
○子爵曾我祐準君 チヨット序デナガラ私ハ一言申上ゲタウゴザイマス、抵當法が能ク分ツテ居ラヌヤウデアリマス、讀シテ見マズ

第二十條 會社カ鐵道財團ヲ讓渡シ、貸付シ若ハ抵當ト爲シ、鐵道財團ニ關スル營業ノ管理委託ヲ爲シ、其ノ線路ヲ變更シ又ハ其ノ線路ノ全部若ハ一部ニ付營業ヲ休止セムトスルトキ又ハ鐵道財團ニ屬スルモノヲ處分セムトスルトキハ抵當權者ニ對シ異議アラハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ二箇月ヲ下ルコトヲ得ス

項が改マリマシテ……
抵當權者カ前項ノ期間内ニ異議ヲ述ヘタルトキハ會社ハ主務官廳ノ裁定ヲ求ム
ヘシ此ノ裁定ハ終局トス

又項が改マリマシテ
抵當權者カ外國ニ住所ヲ有スル場合ニ於アハ第一項ノ期間ハ四箇月ヲ下ルコトヲ得ス

本條ノ規定ハ抵當權者カ豫メ同意ヲ與ヘタル場合ニハ之ヲ適用セス
是ニモ直ク問ガ起リマス、即チ其抵當權者ガ外國人ニアリマシタ其時ハドウシテ其同意ハ御求メニナリマスカ

○政府委員(山之内一次君) 是ハ代理者ト云フモノガ日本國ニ定マッテ居リマス
○子爵曾我祐準君 之ニ對シテハ法律が行ハレヌ譯デスナ、何トナレバ此法律ハ、今出テ居ル法律ハ強制執行ノ法律デアル、然ルニ茲ニハ抵當權者ニ向ツテ同意ヲ求メナケレバナラヌ、シテ見レバ此外國人ニ對シテハ此法律が行ハレナイ、斯ク御辯ジニナルデアリマセウ、同意ヲ與ヘザルト云フコトヲ御注意願ヒマス

○政府委員(山之内一次君) 同意ヲ與ヘナイト云フコトハ出來ナイデアラウト思フノデス、法律デ以テ規定シテアリマスカラ、異議ガアッタナラバ裁定ヲ請ヒマス、或ハ此法案が通過シ

レバ、ソレニ異議ヲ申立テタ所ツレハ不當ノ異議ト認メル外仕方ガアルマイ、併ナガラ其裁定ノ事ヲバ今カラドウスルカト云フ其時ノ遞信大臣ノ意思ヲ申上ゲルコトハ出來マセウケレドモ、是ハ明白ノ事デアラウト思フ

○伯爵廣澤金次郎君 本員ハモウソレカラ先キハ議論ニ涉リマスルシ、又遞信省ノ當局者モ今日初メテ發見ナサツタヤウニ考ヘマスカラ、ソレハ敢テ追第ハ致シマセヌ、併ナガラスウ云フ場合ニハ外國ノ資本家カラ得テ居ル會社ノ社債ハ如何ナル方法ヲ以テ、如何ナル價格ヲ以テ、將來ノ何十箇年ト云フ期限ガアリマスカラ、其期限ノ間ノ利ト云フモノモ御積リニナリマスカ、如何ナル方法ヲ以テ如何ナル程度ニ於テ之ヲ償還ナサルカト云

フコトヲ、若シ御答辯が出來レバ伺シテ置キタイト思ヒマス
○政府委員(山之内一次君) 唯今ノ御尋ノヤウナコトハ承知シテ居リマス、ソレハ即チ政府が繼承スルコトニナツテ居リマス、今度ノ法律ニ依リマシテモ總テノ權利義務ヲ繼承スルコトニナツテ居リマス、又其抵當權ニ付キマシテモ、政府が繼承スルト云フコトが明文ニ書イテアリマス、ソレデ關西鐵道ニシマシテモ政府が代ツテ爲スノデス

○伯爵廣澤金次郎君 今ノ御答辯ア伺ヒマスルト、權利義務ハ繼承スルト云フト、政府ハ此私設鐵道ヲ買收ナサレタ曉モ外國ノ資本家ニ對シテ外國人ニ抵當トシテ置クト云フ御考デアリマスカ

○伯爵柳澤保惠君 私ハ委員デハゴザイマセヌガ、許可ヲ得マシタデ伺ヒタイト思ヒマス、鐵道國有ニ付キマシテ產業ノ發達ヲ圖リ或ハ運輸交通ノ便ヲ圖リ賃錢ヲ低廉ニスルト云フヤウナ理由ガアリマシタガ、ソレダケノ理由デアリマスカ、或ハ他ニモット大事ナ理由ガアルカ、茲デ仰シヤルコトノ出來ヌト云フヤウナ理由ガコザイマスカ、此間總理大臣モノハ成立シテ居ルコトニナツテ居リマス

○伯爵柳澤保惠君 私ハ委員デハゴザイマセヌガ、許可ヲ得マシタデ伺ヒタイト思ヒマス、鐵道國有ニ付キマシテ產業ノ發達ヲ圖リ或ハ運輸交通ノ便ヲ圖リ賃錢ヲ低廉ニスルト云フヤウナ理由ガアリマシタガ、ソレダケノ理由デアリマスカ、或ハ他ニモット大事ナ理由ガアルカ、茲デ仰シヤルコトノ出來ヌト云フヤウナ理由ガコザイマスカ、此間總理大臣無イノデスカ、ソレヲ一應承シテ置キタウゴザイマス

○國務大臣(山縣伊三郎君) 此鐵道國有法ヲ今日ノ場合必要トスル理由ハ過日總理大臣が本議場ニ於テ述ベラタ通りノ次第デアリマス、今更之ヲ繰返ス必要モアルマトイ思ヒマス、謂ハユル戰後ノ經營トシテ將來大ニ財政上ノ發展ヲ圖ラネバラヌ、之ヲ圖ルニハ鐵道ノ管理統一ヲ圖シテ大ニ此先キ運輸交通ノ便ヲ圖ル、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、過日本議場並ニ此委員會ニ於テモ總理大臣が述ベラタ他ニ理由ハアリマセウ

○伯爵柳澤保惠君 モウ少シ明ラサマニ伺シテ見タイト思ヒマス、或ハ此法案が通過シタ曉ニハ或ハ外債ヲ募ル便宜上抵當物品が無イカラ是等ノモノヲ抵當ニ御入レニナツテ或ハ外債ヲ募ルト云フ御考ガゴザイマスカ、ゴザイマセヌカ

○國務大臣(山縣伊三郎君) 財政ニ涉ルコトハ是ハ何レ財政當局者カラ御答致セタ方が宜カラウト思ヒマス

○伯爵柳澤保惠君 サウスルト遞信大臣ハ御答ヲ御憚リニナルノデスカ

○國務大臣(山縣伊三郎君) 私ハサウ云フコトハ考ヘテ居ラヌ

○男爵伊達宗敦君 唯今ノ廣澤伯爵ノ御質問ハ非常ニ大事ノコトト思ヒマスガ、今全體、大藏大臣ハ出席ニナラヌヤウデアリマス、ドウカ是ハ大藏大臣ノ出席ヲ御請求ニナツテ、唯今ノ柳澤伯爵ノ御質問ニハ明白ナル御答辯ヲ得マセヌトイケナイト思ヒマス

○委員長(侯爵黒田長成君) 伊達男爵ニ申シマスガ、先刻來大藏大臣ノ出席ヲ御請求ニナツテ屢々申込ミマシタ所ガ、今少シ取込シテ居ル用ガアルト云フ話デアリマシタカラ、ソレナラバ質問ガアッタ際ニハ速ニ出席ニナリタイト云フコトヲ申シテ置キマシタカラ、直ニ出

席ヲ要求イタシマス

○子爵曾我祐準君 唯今大藏大臣ノ出ラレマデニ先刻廣澤伯爵ノ質問、ソレニ關聯シタコトヲ「箇條伺ヒタ」、抵當法ノ第一十六條ニ「政府カ鐵道及附屬物品ヲ買上ケタル場合ニ於テ抵當權設定後二十箇年又ハ据置年限ヲ經過シタルトキハ抵當附債務ヲ辨済スルコトヲ得但シ少クトモ一箇年前ニ豫告スヘシ」唯今關西鐵道ハマダ二十箇年經チマセスト思ヒマスガ、斯ウ云フ處分ハドウナサイマスカ

○政府委員(山之内一次君) 少シ御尋ノ要領ヲ得マセヌケレドモ、無論即チ二十六條ニアリマスル方法行キマスノデ、据置期限が參リマセヌノハ矢張リ政府が其据置年限ダケハ關西鐵道が約束ヲシテ置キマシタ條件ニ依リマシテ義務ヲ負シテ行クト云フニ外ナラヌノデアリマス、ソレカラチヨット先刻私ノ申シマシタコトニ何ダカ御不満足ノヤウナ模様ニアリマシタガ、私ノ申シマシタ論據ノ箇條ヲ申上ゲテ置キマスガ、第一條ニ「鐵道財團ハ抵當權ノ消滅ニ因リテ消滅ス」トアリマスノデ、此抵當權が成立シテ居リマス間ハ此鐵道ノ所有者が誰ニナリマセウトモ、此鐵道財團ト云フモノハ矢張リ成立シテ居ルコトニナラテ居ルノデアリマス、ソレカラ政事が之ヲ買收イタシマシテモ 矢張リ鐵道財團ト云フモノハ成立シテ居ルモノト認メルノデアリマス

○男爵佐野延勝君 私が午前ニ政府委員ニ質問イタシマシタ、農商務大臣ノ關

係アルカラ農商務大臣カラ答ヘルト云フ 遞信大臣ノ御話ゴザイマシタガ、唯今大藏大臣ノ出席ヲ促サレルナラバ願ハクハ農商務大臣モ同時ニ出席セラレテ答辯アラムコトヲ希望イタシマス、ドウカ委員長カラ御請求ヲ願ヒマス

○委員長(侯爵黒田長成君) 承知イタシマシタ、農商務大臣ノ出席ヲ是ヨリ直チニ請求イタシマス

○男爵佐野延勝君 私モ此炭礦鐵道ノコトニ付テ一應遞信大臣ニ承リタイノデスガ、衆議院ノ委員會ノ速記錄中ニ依ルト、炭礦鐵道ノ炭礦ハ政府ハ買上ゲヌト云フヤウニ明言セラレタヤウニ覺エテ居リマスガ、果シテ左様デゴサイマスカ、遞信大臣ニ承ハリタイ

○國務大臣(山縣伊三郎君) 此炭礦鐵道ノ營業ノ炭礦部ハ之ヲ買上ゲヌ、斯ウ云ブコトヲ衆議院ニ於テ私が申シタノデアリマス、ソレハ法律ノ上ニ於テハ之ヲ買上ゲ得ルコトニナラテ居リマスガ、今之ヲ買上ゲテ政府ニ於テ營業スルト云フノ必要ガ無イ故ニ之ヲ買上ゲヌト申シタノデアリ、法律ノ上ニ於テハ無論買上ゲ得ルト云フコトニナラテ居ル、併シ此炭礦ヲ今取テヤルト云フコトハ必要無イコト認メテ之ヲ買上ゲヌト申シタノデアリマス

○男爵佐野延勝君 尚一應伺シテ置キタイノデゴザイマスガ、炭礦部ト鐵道部ノ區分ハイマスガ、炭礦部ノコトハ含シテ居ラズ、鐵道部ノミテ是ハ計算セラレテ居ルノデスカ

○國務大臣(山縣伊三郎君) 此參考書ニハ矢張リ炭礦部モ舉ゲテアリマスケレドモ、之ヲ買上ゲヌト云フコトニナレバ無論是ハ参考トシテ茲ニ出シタノデアリマスカラ、別段是ハドウト云フコトハアリマセス

○男爵佐野延勝君 尚一應伺シテ置キタイノデゴザイマスガ、炭礦部ト鐵道部ノ區分ハイマスガ、炭礦部ノ出ル口マデ「レール」ヲ敷イタ所カラ、苟モ「レール」ノアル所ヲ境トシテ此資本ヤ何カト云フモノヲ明確ニ區分シテ御積リニナッタモノデゴザイマスカ、或ハ炭礦部ト云フモノハ

炭礦鐵道ノ本線マデ引出ス所ノ支線ナドモ炭礦部ノ何カ資產ニ加ハシテ居ルノデスカ、其邊ヲモウ一應御答辯アランコトヲ願ヒマス

○政府委員(山之内一次君) 是ハ炭礦部ト鐵道部ハ豫テ資本モ區分シテアリマスシ、建設費モキッカリ區別シテ居ルコトニ規定ガナツテ居リマスノデ、今ドノ線ハドウナツテ居ルカト聞カレマス、チヨットソレハ調べテ見マセヌト御答ヘが出來マセヌケレドモ、平生ソレハチャント區別ガ付イテ居ルコトニナラテ居リマス

○男爵佐野延勝君 御請求申セバ明確ニ分リマスナ

○政府委員(山之内一次君) ソレハ遞信省ニ材料ノキッカリ有リマスモノモアリマスシ、キッカリ無イモノモアリマスガ、ソレハ鐵道臺帳ト云フモノガ各會社ニ備ヘテアルコトニナラテ居リマスカラ、調ベマスト分リマス積リデアリマス

○男爵佐野延勝君 宜シウゴザイマス

○委員長(侯爵黒田長成君) 諸君ニチヨット申シマスガ、大藏大臣ニ唯今衆議院ノ方へ出席ニナツテ、是カラ演説ニナル筈三ナツテ居ルサウデゴザイマス、ソレカラ農商務大臣ハ今本省ノ方へ參テ居ラレルサウデスカラ、電話ア問合セマシタ、是ダケヲ申シテ置キマス

○藤田四郎君 唯今ドナタカラカ御質問ガゴザイマシタ、實ハ御尋ネセヌデ置カウト思フテ

當法ニ依リマシテ鑛山ノ財團ト鐵道ノ財團ト共ニ合セテ借財シテ居ルノデアル、此法律ニ依リマシテハ既ニ御買ヒナサラヌト云フコトアリマスト、外債ヲ募リマシテゴザイマス、政府ノ唯今ノ答辯、又衆議院ニ於テノ御答辯ニ依リマスト炭礦會社ハ炭礦ノ方、即チ礦山ノ方ハ必要が無イカラ買入レヌト云フ御話ゴザイマスガ、此法律ニ依リマスト云フト、即チ昨年春ノ抵

居リマシタガ、御尋ニナリマシタコトニ關係イタシタコトニアリマスカラ、一應伺シテ置キタイ、炭礦會社ハ昨年ゴザイマシタカ、外債ヲ募リマシテゴザイマス、政府ノ唯今ノ答辯、又衆議院ニ於テノ御答辯ニ依リマスト炭礦會社ハ炭礦ノ方、即チ礦山ノ方ハ必要が無イカラ買入レヌト云フコトニナリマスガ、又別ニ法律ヲ御出シナサル御考アリマスカ、鐵道ノ財團ヲ一ツノ目的物トシテ金ヲ貸シタノデアルカラシテ、是ハ兩方共ニ二十箇年ノ間、政府が責任ヲ負ハナケレバナルマイカト思ヒマス、然ルニ此買入レナオ所ノモノニ付テ政府が此法律ニ依シテ責任ヲ負フコトハムツカシクハナイカト思ヒマスガ、或ハソレハムツカシケレバ買入レヌト云フコトニナリマスカ、又別ニ法律ヲ御考アリマスカ、鐵道ニ關聯イタシテ居ル債務アリマスカラ、引受ケラレル、繼承スルト云フコトガ出來マセウガ、關聯シナクナツテ居テ鑛山ト云フモノハ自ラ別ノ會社カ何カニナラテ殘ルモノアリマス、其會社が無論、金ヲ拂ハナイコトハゴザイマシイガ、拂ハヌデモ、政府ハ連帶責任ヲ持タケレバナルマイカト思ヒマス、即チ國家ノ負擔ガ別ニ増スコトニナルト思ヒマス、是ハ政府が御買ヒニナル必要が無イト云フ御考ゴザイマシカ、或ハ又法律ヲ御出シニナル御考ゴザイマセウガ、一應伺ヒマス

モ、サウデナイト時分ハ不可分ノモノニアラウト思ヒマス、サウスルト云フト此度鐵道ヲ買收

イタシマスレバ此鐵道ト云フモノ其財團ニ當然不可分テ以テクッ付イテ居リマス所ノ義務ニアラウト思フノアリース、サウスルト云フト此度ノ法案ニアリマス所ノ第四條ニ總テ

ノ權利義務ヲ繼承スルコトニナツテ居リマスカラ、矢張リ分ツベカラザル所ノ義務ハ當然政府が繼承スルコトニナル、即チ此法律テ當然繼承スルニアリマスカラ、特別ノ法律ヲ出ス必要ハ無カラウト信ズルノアリマス

○藤田四郎君 此法律ニ依ツテハドウモ其義務ハ繼承スルコトハ出來マイト思ヒマス、固ヨリ債權者ニ於キマシテ之ヲ同意イタシマシタキハ支ヘハゴサンスマイデゴザンセウガ、一ツノ財團ヲ擔保ニシテ、尙會社ヨリハ政府が、ソレノ責任者ニナルト云フコトニアリマスレバ、外國人ハ喜ビマスコトデゴザンセウカラ、其方ハ默ニテ居リマセウケレドモ、假令其借入レタ金ヲ幾分ハ鑛山ニ使ヒ幾分ハ鐵道ニ使ヒト云フコトガアリマシテモ、兎モ角モ財團ト云フモノハ一ツニナツテ居リマシテモ、其二ツヲ一物ト見テソレテ貸シタニ違ヒナイノデゴザンカラ、ソレヲ離スト云フコトハ先キテハ到底同意ハセヌ、算盤ヲ知ニテ居ル者ナラバ同意ヲセヌト云フコトハ疑ヒナコトデアリマス、シテ見マスルト必ズ政府ハ此鐵道ノ爲ニ……

鐵道ニ關係ノ無い、即チ他ノ用途ニ使ヒテ居ル所ノモノヲ尙債務ヲ負フト云フコトニナリマスノデ、會計法ニ依リマシテソレハ出來ナイコト、見テ居リマスガ、ドウデゴザイマセウカ

○政府委員(山之内一次君) 唯今ノ御尋ニナリマシタ所ハ、多少見解ニ議論ニナルヤウデアリマスケレドモ、本員ノ信ジマスル所デハ御話ノ通り鐵道ノ財團ト鑛山ノ財團トヲ

一ツニ見テ、サウシテ一ツノ抵當權ヲ設定シテ居ルノアリマスカラ、之ヲ分ツト云フコトハ到底出來得ナイ、好意ヲ以テ權利者が免除せザル以上ハ分ツト云フコトハ出來ナイ皆ノモノト思ヒマスルカラ、一ノ鐵道會社ニアリマシテモ矢張リ鑛山部鐵道部トハ互ニ義務ヲ負ウテ居ル、即チ此買收前カラサウ云フ性質ノ義務ヲ負ウテ居ルノデゴザイマス、即チ鐵道部ト云フモノハ矢張リ炭礦部ニ對シテモ抵當權ノ關係カラシテ義務ヲ負フト云フコトハ、既ニ買收前カラ定マツテ居ル義務テアリマスカラ、其義務ヲ此度此法律ノ第四條ニゴザイマスカ、權利義務ヲ承繼スト云フ、アレデ承繼イダスノデゴザイマスカラ即チ此法律ニ依ツテ當然承繼スルモノデアルト云フテ差支ナカラウト本員ハ信ジマス

○藤田四郎君 敢テ議論ハ致シマセヌノデゴザンスガ、ドウシテモ繼承スルト云フコトハ出來ナイモノデハナイカト思ヒマス、ト申シマスルハ此既ニ鐵道ナラバ鐵道ト云フモノニ付キマシテ使用シマシタモノナラバ宜シウゴザンスガ、買入レナイト云フ會社ガ起リマシテ……

其會社が鐵道用デナイ以外ノモノニ是カラ尙使ハムトシツ、アルモノデアル、ソレヲ政府ガ引受ケテ行クト云フコトハ唯ハ出來ナイコト、思ヒマス、議會モ無ク、豫算モ無ク、法律モ無イモノナラバ出來マセウガ、斯ウ云フモノガアリマスル以上ハ、ドウシテモ出來ナクナリハシマセヌカ、ソレダケノ途ハ執ラレナケレバナルマイト本員ハ固ク信ズルノアリマス

○子爵曾我祐準君 大臣ニモ段々申シテ行ヒテ居ルサウテスガ、尙御出デガゴザイマセヌシ、今日ハ朝カラ此委員會ヲ開イテ居リマスルガ、如何デゴザイマセウカ、最早御切上げニナフテハ……諸君ノ御贊成ヲ願ヒマス

○伯爵德川達孝君 何シロモウ少シ待ツテ大臣ガ來ラレテ、サウシテ説明ヲ聽イタ方ガ宜カラウト思ヒマス、重要ナモノデアルノニ、サウ早クヨスコトバカリヨ御望ミニナツテハ困ル

ト思ヒマス

○男爵伊達宗敦君 私モ「成ルベク」ト云フコトハ甚ダ困ルノデ……其點ハ曾我サンニ

賛成ヲ致シマスルガ、大藏大臣ハ殆ド約束セル如ク此所ニ出ラレルダラウト思ヒマスカラ、モウ少々御互ニ辛抱シテ唯今ノ柳澤伯爵ノ答辯ケヲ承ルヤウニ致シタイト思ヒマス、德

川伯爵ニ同意イタシマス

○男爵佐野延勝君 私ハモウ一ツ此炭礦鐵道ノコトニ就テ質問ヲ致シタイ、先刻炭

礦部ノ資本ト云フモノハ、ソレ等ハ臺帳ニ載ツテ明確ニ分ツテ居ル、記シテアルト云フコトデゴザイマシタガ、私ハ炭礦鐵道ノ株主ニアリカラ炭礦鐵道ノコトハ能ク存シマセヌガ、炭

礦鐵道ト云フモノニハ、炭礦部ノ株ト鐵道部ノ株トニツアルノデゴザイマスルカ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(山之内一次君) 株ト致シマシテハニツニ分ツテ居リマセヌデゴザイマス、併ナガラ其株ノ拂込、拂込ヲ致シマシタノガ即チ其資本ニナリマスガ、其拂込ミマシタモノ、斯ノ如キ負債ヤ何カ其金高ハ幾ラガ炭礦部ニ當テ、アル、幾ラガ鐵道部ニ當テ、アルト云フコトハ割然ト分ツテ居リマス

○男爵佐野延勝君 ニツナイト云フコトナラ、ソレハ分リマシタガ、然ラバ此炭礦デ掘ツテ炭ヲ採ツタリ、ソレカラ「コードクス」ヲ造ツテ賣ツタリシタ所ノ利益ハ炭礦鐵道ノ株式ニモ

是マデ利益トシテ配當シテ居ルノデアラウト認メテ宜シイノデスカ

○政府委員(山之内一次君) 無論唯今ノ御考へ通リデアラウト思ヒマス

○男爵佐野延勝君 然ラバ此炭礦鐵道ノ利益ノ真ノ利益ト云フモノハ、鐵道カラ生ジタ利益ノ割合ノミナクシテ、炭礦ト合シタ所ノ利益アル、然ルヲ日本鐵道ノヤウニ單純ノ鐵道ノミデ利益ヲシタ其利益ノ利子ト……兼業シテ諸ケタモノデ配當ヲシタモノト同ジコトノ率ヲ炭礦鐵道ニ引用スルハドウ云フモノデアリマスカ、少シ不公平デナイカ

知ラヌト思ヒマス

○政府委員(山之内一次君) 資本が矢張リ區別シテアリマスルト同様ニ此收益計算ニ就キマシテモ矢張リ炭礦部ハ炭礦部、鐵道部ハ鐵道部ト云フノア、別ニナツテ居リ

マシテ勿論配當ヲ致シマストキハ、株ハ別ニナツテ居リマセヌカラ、ソレヲ合セタモノデ計算ヲ致シマスルケレドモ、ソレマデニ致シマスマニハ炭礦ノ益金、鐵道ノ益金ト云フモノハチヤント區別ガ付テ居リマス、ソレデ此鐵道ノ方ニ積リマシタノハ是ハ其鐵道ノ方ニ用井

マシタ所ノ建設費ト其鐵道ノ方カラ出マシタ所ノ益金ト云フモノトノ割合ヲ取ツタノデアリマス

○政府委員(山之内一次君) 餘リ言ヒマシテ恐入リマスガ、此第四條ト云フモノニ兼業ノ義務ハ繼承セヌト云フコトが書イテアリマスガ、不可分ト云フ御越意デアルノデスケレドモガ、ドウモ

別ニ法律ヲ御出シニナラヌト不都合テハナイカト思ヒマスノデ、政府ハ矢張リソレモ行ケルト云フ御考テゴザイマセウカ、兼業ノモノハ即チ衆議院テ御答辯ニナツテ居ル所ニ依リマスルト、サウ云フモノノ義務ハ繼承セヌト云フコトヲ明言セラレテ居リマス、サウシテ

矢張リ是ハ不可分ノ理由デ行ケルノデゴザイマセウカ、或ハ何カ別ニ法律ガ要リハシマセヌカ、此會期中デ、ナクテモ次ノ會期ニシテモ行ケルカ知レマセヌガ、ドウモソレハ穩デナイカト思ヒマスガ……

要ト云フコトハ無イノデアリマス、御承知ノ通リ戰時中、起シマシタ外債ニ付キマシテハ、或ハ海關稅ノ擔保トカ或ハ煙草ノ專賣收入ヲ擔保ト致シマシタ、其後ニ起リマシテ公債ニ付キマシテハ既ニ此擔保ノコトハ無クナシテ居リマシタ、ソレデ政府ニ於キマシテ今コ、ニ外債ノ擔保ニスル必要ガアツテ國有トスル理由ハ毫モゴザイマセス、勿論又非常ナ大戰爭ニモ起シタ云フヤウナ場合ガ生ジマシタラバ、或ハサウ云フコトモ今後無イデハアリマセヌガ、別段今御尋ノヤウナ意味ハ含蓄サレテアリマセス

○伯爵柳澤保惠君 大藏大臣ニ伺ヒマス、別ニ國家重大ナ事件ガ起ラヌ限りハ鐵道ヲ抵當トスルコトハ無イ、……他日アレハ一時ノ權宜デアツト云フヤウナコトガアツテハ困リマス、ソレヲ伺ヒマス

○國務大臣(阪谷芳郎君) ソレハ今申シマシタ通り、之ヲ外債ノ擔保トスルガ爲ニ國有トスルト云フコトハ毫モゴザイマセス

○委員長(侯爵黒田長成君) 農商務大臣ノ出席モ先刻要メマシタケレドモ、差支ガアツテ今ニ出席ガアリマセス、次會ニハ出席ヲ要メルコトニ致シマス、次會ハアトヨリ御通知イタシマス、本日ハ散會

(伯爵徳川達孝君發言ノ許可ヲ求ム)

○委員長(侯爵黒田長成君) モウ散會ヲ宣告イタシマシタ

午後二時三分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵黒田 長成君

委員

伯爵正親町實正君	伯爵徳川 達孝君	子爵谷 干城君
子爵井上 勝君	子爵曾我 祐準君	子爵岡部 長職君
子爵堀田 正養君	子爵三島彌太郎君	子爵牧野 忠篤君
男爵松平 正直君	男爵小澤 武雄君	平山 成信君
男爵有地品之允君	男爵伊達 宗敦君	小松原英太郎君
男爵野田 豪通君	山川健次郎君	男爵佐野 延勝君
男爵紀 俊秀君	南郷 茂光君	古市 公威君
藤田 四郎君	武井 守正君	磯邊 包義君
桑田 熊藏君	下郷 傳平君	
伯爵柳澤 保惠君	伯爵廣澤金次郎君	
西村 亮吉君		
委員ニアラスシテ出席シタル者		
國務大臣		
陸軍大臣 寺内 正毅君		
政府委員		
大藏省理財局長 水町袈裟六君	大藏大臣 阪谷 芳郎君	
遞信大臣 山縣伊三郎君		

陸軍次官 石本 新六君

遞信次官 伸小路 廉君

鐵道作業局長官 平井晴一郎君
遞信省鐵道局長 山之内一次君

明治三十九年三月二十二日印刷

明治三十九年三月二十三日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局